

老 発 第 0 3 1 7 0 0 2 号 平 成 1 8 年 3 月 1 7 日

各都道府県知事 殿

厚生労働省老健局長

介護認定審査会の運営について

標記については、「介護認定審査会の運営について」(平成 15 年 3 月 24 日 老発第 0324001 号厚生労働省老健局長通知。以下「平成 15 年 3 月老発第 0324001 号通知」という。)により取り扱われていたところであるが、今般、「介護保険法等の一部を改正する法律」(平成 17 年法律第 77 号。以下「改正法」という。)が平成 18 年 4 月 1 日より施行されることとなったことに伴い、介護認定審査会が審査判定を行う場合の取り扱い方法等について、別添によることとし、平成 18 年 4 月 1 日から適用することとしたので、通知する。

なお、本通知の施行に伴い、平成 15 年 3 月老発第 0324001 号通知は平成 18 年 3 月 31 日をもって廃止する。

介護認定審査会運営要綱

1 目的

本運営要綱は、介護保険法に定める介護認定審査会(以下「認定審査会」 という。)の適切な運営に資することを目的とする。

2 認定審査会の委員の構成

1) 委員の構成

委員は、保健・医療・福祉の各分野に関する学識経験の均衡に配慮した構成とする。その際、以下の点について留意する。

(1) 学識経験の判断について

委員の学識経験の分野等については、市町村長が個々の委員について 判断する。

(2) 保険者との関係について

認定審査会における審査判定の公平性を確保するために、原則として 保険者である市町村の職員以外の者を委員として委嘱することとするが、 委員確保が困難な場合は、保健・医療・福祉の専門職であって認定調査 等の介護保険事務に直接従事していない市町村の職員を委員に委嘱する ことは差し支えない。

(3) 認定調査員との兼務について

委員は、当該保険者の認定調査員として認定調査に原則として従事することはできない。ただし、他に適当な者がいない等の理由でやむを得ず委員が認定調査に従事せざるを得ない場合はこの限りでない。その場合であっても、委員が認定調査を行った審査対象者の審査判定については、当該委員が所属する合議体では行わない。

2) 合議体の設置

合議体についても、保健・医療・福祉の各分野に関する学識経験の均衡 に配慮した構成とする。

合議体の委員の定数については、以下の場合などにおいて、5人より少ない定数によっても認定審査会の審査判定の質が維持されるものと市町村が判断した場合、5人より少ない人数を定めることができる。ただし、この場合であっても、少なくとも3人を下回って定めることはできない。

- 要介護認定及び要支援認定の更新に係る申請を対象とする場合
- ・委員の確保が著しく困難な場合

特定の分野の委員の確保が困難な場合にあっては、当該分野の委員を他の分野より多く合議体に所属させることとした上で、会議の開催にあたっ

て定足数を満たすよう必要な人数が交代に出席する方式でも差し支えない。 認定審査会に設置する合議体は、一定期間中は固定した構成とすること とするが、いずれの合議体にも所属しない無任所の委員をおいた上で、概 ね3か月以上の間隔をおいて合議体に所属する委員を変更することは可能 である。なお委員は、所属しない合議体における審査判定に加わることは できない。

なお、委員確保が特に困難な場合を除き、複数の合議体に同一の委員が 所属することは適切ではない。

3 認定審査会の会長職務の代行者の指名

認定審査会の会長は、会長に事故あるときにその職務を代行する委員をあらかじめ指名する。

4 合議体の長及びその職務の代行者の指名

市町村が別段の定めをおく場合を除いて、合議体の長は合議体を招集し、その会務を総理する。

合議体の長が所属する合議体の会議に出席できないときは、当該合議体に 所属する委員であって合議体の長があらかじめ指名するものがその職務を代 理する。

5 認定審査会の議決

認定審査会(合議体を置く場合は合議体を含む。以下同じ。)は、委員の うち保健・医療・福祉のいずれかの分野の学識経験を有する委員を欠くとき は会議を開催しないことが望ましい。

審査判定にあたっては、できるだけ委員間の意見の調整を行い、合意を得るよう努める。その上で、認定審査会の議事は、会長(合議体にあっては合議体の長をいう。以下同じ。)を含む出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによる。

6 審査及び判定

認定審査会は、審査対象者について、認定調査票のうち「基本調査」及び「特記事項」並びに「主治医意見書」に記載された主治医の意見に基づき、「要介護認定等に係る介護認定審査会による審査及び判定の基準等に関する省令(平成11年厚生省令第58号)」による要支援認定基準及び要介護認定基準(以下「認定基準」という。)に照らして、

- ・要介護状態又は要支援状態に該当すること
- ・介護の必要の程度等に応じて認定基準で定める区分(以下「要介護状態等区分」という。)

について、審査及び判定を行う。

要介護状態等区分の決定に当たっては要介護認定等基準時間等に基づき、 介護に係る時間の審査(以下「介護の手間に係る審査判定」という。)を行い、介護の手間に係る審査判定において、要介護認定等基準時間が三十二分 以上五十分未満である状態(当該状態に相当すると認められないものを除 く。) 又はこれに相当すると認められる状態(以下「要介護1相当」という。) に該当すると判定された審査対象者については、認知症の程度や心身の状況の安定性等に基づき、心身の状態の維持又は改善可能性の審査(以下「状態の維持・改善可能性に係る審査判定」という。) を行い、要介護1又は要支援2のいずれの要介護状態等区分に該当するかの判定を行う。

さらに、特に必要がある場合については、

- ・被保険者の要介護状態の軽減または悪化の防止のために必要な療養に関する事項
- ・居宅サービス、地域密着型サービス、施設サービス、介護予防サービス又 は地域密着型介護予防サービスの有効な利用等に関し被保険者が留意すべ き事項

について意見を付する。(7 3)参照)

なお、40歳以上65歳未満の審査対象者にあっては、「主治医意見書」により介護保険法施行令(平成10年政令第412号)に規定する特定疾病によって生じている障害(生活機能低下)を原因として要介護状態又は要支援状態となっていることを確認する。

7 認定審査会開催の手順

1) 事前の準備

委員は、別途通知する実施要綱に基づき都道府県又は指定都市が実施する認定審査会委員に対する研修(認定審査会委員研修)を受講し、審査及 び判定の趣旨、考え方、手続き等を確認する。

市町村は、認定審査会開催に先立ち、当該開催日の認定審査会において 審査及び判定を行う審査対象者をあらかじめ決めた上で、該当する審査対 象者について以下の資料を作成する。

- ・基本調査の調査結果及び主治医意見書を用いて、市町村に設置されたコンピュータに導入するために国が別途配布する一次判定用ソフトウェア (以下「一次判定ソフト」という。)によって分析・判定(以下「一次 判定」という。)された結果等を表出したもの(以下「認定審査会資料」 という。)(一次判定ソフトによる分析・判定の内容については、別紙 1及び別紙2を参照)
- ・特記事項の写し
- 主治医意見書の写し

これらの資料については、氏名、住所など個人を特定する情報を削除した上で、あらかじめ認定審査会委員に配布することが望ましい。

2) 審査及び判定の手順(別紙3による)

基本調査の結果を、特記事項及び主治医意見書の内容と比較検討し、基本調査の結果との明らかな矛盾がないか確認する。

これらの内容に不整合があった場合には再調査を実施するか、必要に応じて主治医及び認定調査員に照会した上で基本調査の結果の一部修正が必要と認められる場合には、調査結果の一部修正を行う。なお、調査結果の

一部修正を行う場合には、別紙4の「要介護状態等区分の変更等の際に勘案しない事項について」のIによるものとする。

なお、再調査後の審査判定は、原則として前回と同一の認定審査会又は その合議体において審査判定を行うこととする。

また、第二号被保険者の審査判定にあたっては、主治医意見書の記載内容に基づき、要介護状態又は要支援状態の原因である生活機能低下が特定疾病によって生じていることを別途老人保健課長名で通知する「特定疾病にかかる診断基準」に照らして確認する。

なお、主治医意見書を記載した医師が当該診断基準を直接用いていない場合は、主治医意見書記載事項を診断基準に当てはめた上で、特定疾病に該当しているかどうかにつき確認する。

次に、一次判定の結果(基本調査の結果の一部を修正した場合には一次 判定ソフトを用いて再度一次判定を行うなどにより得られた一次判定の結 果)を原案として、特記事項及び主治医意見書の内容を加味した上で、介 護の手間に係る審査判定を行う。

認定審査会での個別の審査判定において、特記事項及び主治医意見書の 内容から、通常の例に比べてより長い(短い)時間を介護に要すると判断 される場合には、一次判定の結果を変更する。

なお、一次判定の結果を変更する場合には、「要介護認定等基準時間の推計の方法」(平成 12 年厚生省告示第 91 号)に定める要介護認定等基準時間の行為の区分毎の時間、別紙5の「日常生活自立度の組合せによる要介護度別分布」、別紙6の「要介護度変更の指標」及び別紙7の「状態像の例」(要介護度別・中間評価項目群別の調査所見及び要介護度別・中間評価項目の平均得点を含む)を参照して一次判定変更の妥当性を検証する。

介護の手間に係る審査判定において一次判定の結果を変更する場合には、 別紙4の「要介護状態等区分の変更等の際に勘案しない事項について」の IIによるものとする。

介護の手間に係る審査判定において要介護1相当と判定した場合には、 認定審査会資料に示された「認知機能・廃用の程度の評価結果」を原案と して、特記事項及び主治医意見書の内容を加味した上で、別紙8の「予防 給付の適切な利用が見込まれない状態像について」を参照して、状態の維 持・改善可能性に係る審査判定を行い、要介護1又は要支援2のいずれの 要介護状態等区分に該当するかについて、判定を行う。

状態の維持・改善可能性に係る審査判定に当たっては、別紙4の「要介護状態等区分の変更等の際に勘案しない事項について」の皿によるものとする。

状態の維持・改善可能性に係る審査判定において要介護1と判定した場合には、別紙8の「予防給付の適切な利用が見込まれない状態像について」に示された、いずれの状態像に該当するか確定する。

3) 認定審査会が付する意見

認定審査会が必要に応じて付する意見について特に留意すべき点は以下の通りである。

(1) 認定の有効期間を定める場合の留意事項

認定審査会が認定の有効期間について意見を述べる場合は、「現在の 状況がどの程度継続するか」との観点から以下の考え方を基本に認定の 有効期間についての検討を行う。

[認定の有効期間を原則より短く定める場合]

- ・ 状態の維持・改善可能性に係る審査判定において要介護 1 と判定した 者であって、別紙 8 に示した「予防給付の適切な利用が見込まれない 状態像」のうち、「疾病や外傷等により、心身の状態が安定していな い状態」に該当するとされた者等、身体上または精神上の生活機能低 下の程度が短期間に変動しやすい状態にあると考えられる場合
- ・施設から在宅、在宅から施設に変わる等、置かれている環境が大きく 変化する場合等、審査判定時の状況が変化しうる可能性があると考え られる場合
- ・その他、認定審査会が特に必要と認める場合

[認定の有効期間を原則より長く定める場合]

- ・身体上または精神上の生活機能低下の程度が安定していると考えられ る場合
- ・同一の施設に長期間入所しており、かつ長期間にわたり要介護状態等区分に変化がない場合等、審査判定時の状況が、長期間にわたって変化しないと考えられる場合(重度の要介護状態にある場合を基本とするが、個々の事例ごとに原則より長期間要介護状態が継続すると見込まれる場合を判断する)
- その他、認定審査会が特に必要と認める場合

(2) サービス種類の指定を行う場合の留意事項

市町村は、被保険者の要介護状態又は要支援状態の軽減又は悪化を防止するため特に療養上必要があるとして認定審査会の意見が付された場合には、それに基づき、サービス種類の指定を行うことができることとしているが、サービス種類を指定することにより、指定されたサービス以外のサービスは利用できないことから、申請者の状況について具体的に検討の上、種類を指定する必要がある。

なお、種類の指定にあたっては、「通所リハビリテーションを含む居宅サービス」等、複数のサービスを組み合わせての指定を行うことも可能である点に留意する。

4) 審査及び判定に当たっての留意事項

(1) 概況調査等の取扱いについて

概況調査及び過去に用いた審査判定資料については、認定審査会が当該審査対象者の状態を把握するために参照することはさしつかえないが、審査判定の際の直接的な資料としては用いない。

なお、概況調査の結果等を参照した場合であっても、7-2)の規定に基づいて、一次判定により示された要介護状態等区分の結果及び認知機能・廃用の程度の評価結果を変更することとした場合には、別紙4の「要介護状態等区分の変更等の際に勘案しない事項について」によるものとする。

(2) 認知機能・廃用の程度の評価結果の取扱いについて

認定審査会資料のうち別紙2の「認知機能・廃用の程度の評価結果」は、介護の手間に係る審査判定において要介護1相当と判定された者に対する状態の維持・改善可能性に係る審査判定においてのみ用い、介護の手間に係る審査判定において「認知機能・廃用の程度の評価結果」を用いることはできない。

(3) 委員が審査判定に加われない場合について

市町村は、審査判定を行う合議体に審査対象者が入院若しくは入所し、 又は介護サービスを受けている施設等に所属する委員が含まれないよう に、審査判定を行う合議体の調整に努める。

審査対象者が入所等をしている施設等に所属する者が、当該合議体に 委員として出席している場合には、当該審査対象者の審査及び判定に限 って、当該委員は判定に加わることができない。ただし、当該審査対象 者の状況等について意見等を述べることは差し支えない。

(4) 認定審査会への委員及び事務局員以外の参加について 審査判定にあたって、必要に応じて、審査対象者及びその家族、主治 医、認定調査員及びその他の専門家の意見を聞くことができる。

(5) 認定審査会の公開について 認定審査会は、第三者に対して原則非公開とする。

(6) 記録の保存について

審査判定に用いた記録の保存方法等については、必要に応じて各市町村ごとにその取扱いを定める。

(7) 国への報告について

別途設置する認定支援ネットワークシステムを用いて、審査判定があった日の翌月の10日までに別途定める事項を国に報告する。

一次判定結果について

- 〇 原則として、「要介護認定等基準時間の推計の方法」(平成 12 年厚生省告示第 91 号)により算定された時間について、「要介護認定等に係る介護認定審査会による審査及び判定の基準等に関する省令」(平成 11 年厚生省令 58号)に基づく要支援状態区分又は要介護状態区分(以下「要介護状態等区分」という。)を一次判定結果とする。
- O ただし、要支援2及び要介護1に相当する要介護認定等基準時間に該当する場合は、共に一次判定結果を「要介護1相当」として取り扱う。
- 〇 また、要件1及び要件2を満たす場合は、1段階重度の要介護状態等区分を、さらに要件3を満たす場合は、2段階重度の要介護状態等区分を一次判定結果とする。この場合においても、「要介護1相当」を一つの要介護状態等区分として取り扱うものとする。

要件1:

「認知症高齢者の日常生活自立度」がⅢ、Ⅳ又はMかつ、「障害高齢者の日常生活自立度」が自立、J又はAであり、要介護認定等基準時間が70分未満の者

要件2:

一次判定結果ごとに、表 1 ~表 3 及び図を用いて、定数項を含めた各調査項目等のスコアを加算し、0.5 超えるとき

要件3:

一次判定結果ごとに、表4の左欄に掲げる項目が右欄に示す数に該当するとき

表1 スコア表(自立(非該当)・要支援1) (要介護認定等基準時間で32分未満)

定数項 -0.024

立ち上がり	できる	0.000	つかまれば可	0.176	できない	0.176				
洗身	自立	0.000	一部介助	0.217	全介助	0.313	行っていない	0.376		
ズボン等の着脱	自立	0.000	見守り等	0.293	一部介助	0.293	全介助	0.293		
聴力	普通	0.000	やっと聞える	0.332	大声が聞える	0.332	ほとんど聞えず	0.376	判断不能	0.376
毎日の日課を理解	できる	0.000	できない	0.170						
場所の理解	できる	0.000	できない	0.172						
幻視幻聴	ない	0.000	ときどきある	0.254	ある	0.254				
理解および記憶	0レベル	0.000	1レベル	0.132	2レベル	0.132	3レベル	0.132		
(主治医意見書)	4レベル	0.132	5レベル	0.132	6レベル	0.132	(別図 参照)	•	•	

表2 スコア表(要介護1相当) (要介護認定等基準時間で32分以上50分未満)

寝返り	できる	0.000	つかまれば可	0.104	できない	0.400		
片足での立位	できる	0.000	支えが必要	0.101	できない	0.249		
洗身	自立	0.000	一部介助	0.215	全介助	0.285	行っていない	0.624
食事摂取	自立	0.000	見守り等	0.112	一部介助	0.315	全介助	0.315
上衣の着脱	自立	0.000	見守り等	0.181	一部介助	0.249	全介助	0.478
金銭の管理	自立	0.000	一部介助	0.064	全介助	0.201		
意思の伝達	できる	0.000	ときどきできる	0.098	ほとんど不可	0.098	できない	0.098
毎日の日課を理解	できる	0.000	できない	0.117				
理解および記憶	0レベル	0.000	1レベル	0.001	2レベル	0.001	3レベル	0.067
(主治医意見書)	4レベル	0.067	5レベル	0.125	6レベル	0.125	(別図 参照)	
問題行動{中間評価得点} -0.008		(中間評価得点を乗じる)						

表3 スコア表(要介護2) (要介護認定等基準時間で50分以上70分未満)

定数項	0.490
-----	-------

移乗	自立	0.000	見守り等	0.254	一部介助	0.290	全介助	0.290
片足での立位	できる	0.000	支えが必要	0.021	できない	0.208		
洗身	自立	0.000	一部介助	0.160	全介助	0.256	行っていない	0.608
食事摂取	自立	0.000	見守り等	0.078	一部介助	0.287	全介助	0.606
排尿	自立	0.000	見守り等	0.047	一部介助	0.145	全介助	0.252
整髪	自立	0.000	一部介助	0.148	全介助	0.216		•
上衣の着脱	自立	0.000	見守り等	0.145	一部介助	0.211	全介助	0.327
生年月日をいう	できる	0.000	できない	0.106		•		•
問題行動{中間評	価得点]	-0.010	(中間評価得点を	を乗じる)	•			

図 理解および記憶(主治医意見書)の算出方法

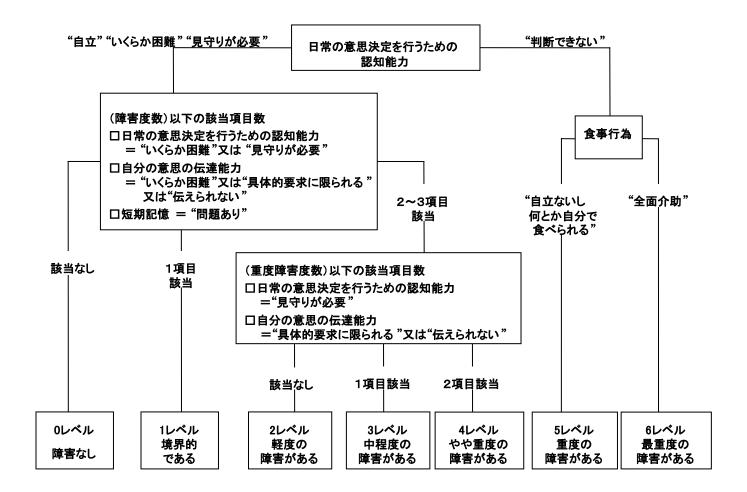
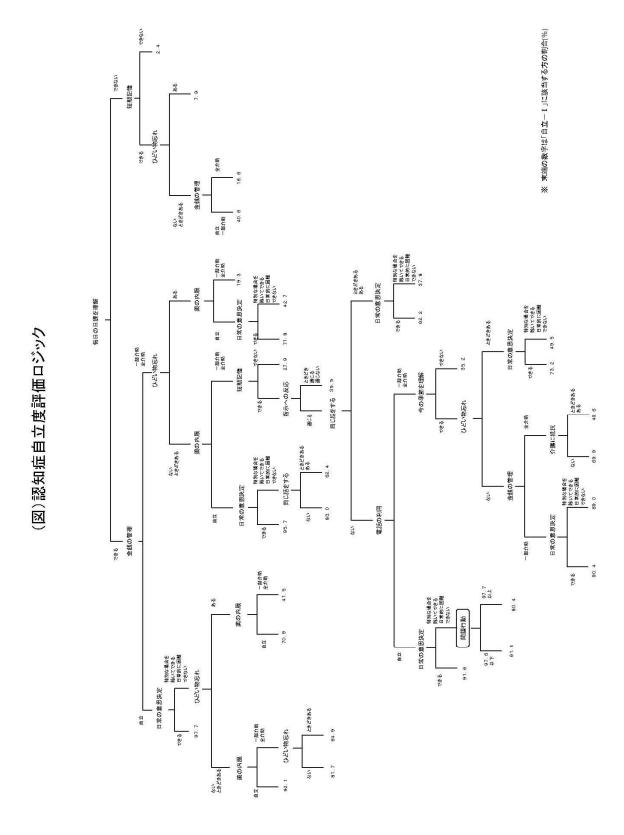


表 4

暴言暴行	
大声をだす	自立(非該当) (要介護認定等基準時間が 25 分未満である状態)
介護に抵抗	・・・・・・・1 項目以上に該当
常時の徘徊	要支援 1 (要介護認定等基準時間が 25 分以上 32 分未満である状態)
外出して戻れない	・・・・・・・2項目以上に該当
1人で外に出たがる	要介護1相当(要介護認定等基準時間が32分以上50分未満である状態)
火の不始末	・・・・・・・4項目以上に該当
不潔行為	要介護 2 (要介護認定等基準時間が 50 分以上 70 分未満である状態)
異食行動	・・・・・・・6項目以上に該当

「認知機能・廃用の程度の評価結果」における 一次判定ソフトにより推定される給付区分について

- 一次判定ソフトによる認知症高齢者の日常生活自立度等を用いた、認定審査 会資料への給付区分の具体的な表示方法は以下のとおりである。
 - ① 「認知症高齢者の日常生活自立度」において、基本調査結果、主治医意見書の結果がともに「Ⅱ以上Mまで」の場合には「介護給付相当」と認定審査会資料に表示する。
 - ② 「認知症高齢者の日常生活自立度」において、基本調査結果と主治医意見書の結果が一致しない場合、別表による方法(以下「認知症自立度評価ロジック」という。)により算定される「自立又は I 」の蓋然性が D 「25%未満」または C「25%以上 50%未満」の場合には「 II 以上Mまで」の蓋然性が高いとして「介護給付相当」と認定審査会資料に表示する。
 - ③ 「認知症高齢者の日常生活自立度」において、基本調査結果、主治医意見書の結果がともに「自立又は I」の場合、又はその結果が一致しない場合で、認知症自立度評価ロジックにより算定される「自立又は I」の蓋然性が A「75%以上」又は B「50%以上 75%未満」の場合には、認定調査のうち廃用の程度に関する項目の結果の組み合わせから、別紙 2 3 により、給付区分を認定審査会資料に表示する。



認定ソフトによる基本調査結果に基づく廃用の程度の提示について

〇「認知症高齢者の日常生活自立度」の評価において、基本調査結果、主治 医意見書の結果がともに「自立又はI」の場合、又はその結果が一致しな い場合で、認知症自立度評価ロジックにより算定される「自立又はI」の 蓋然性がA「75%以上」又は B「50%以上 75%未満」の場合には、基本 調査項目のうち廃用の程度に関する認定調査結果を用いて、以下のとおりの 給付区分の提示を行う。

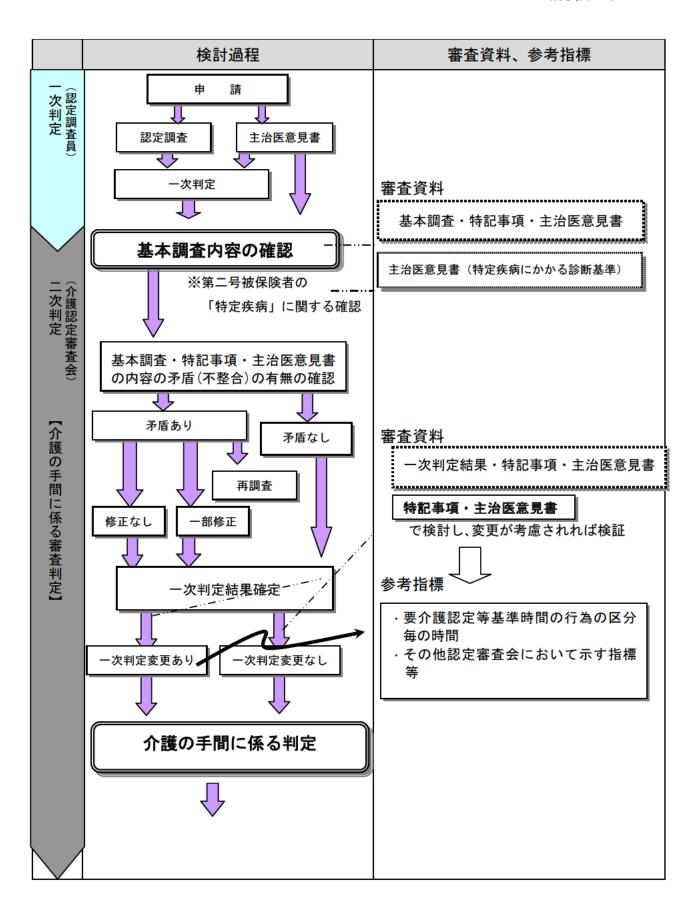
(基本調査結果と提示される給付区分の組み合わせ)

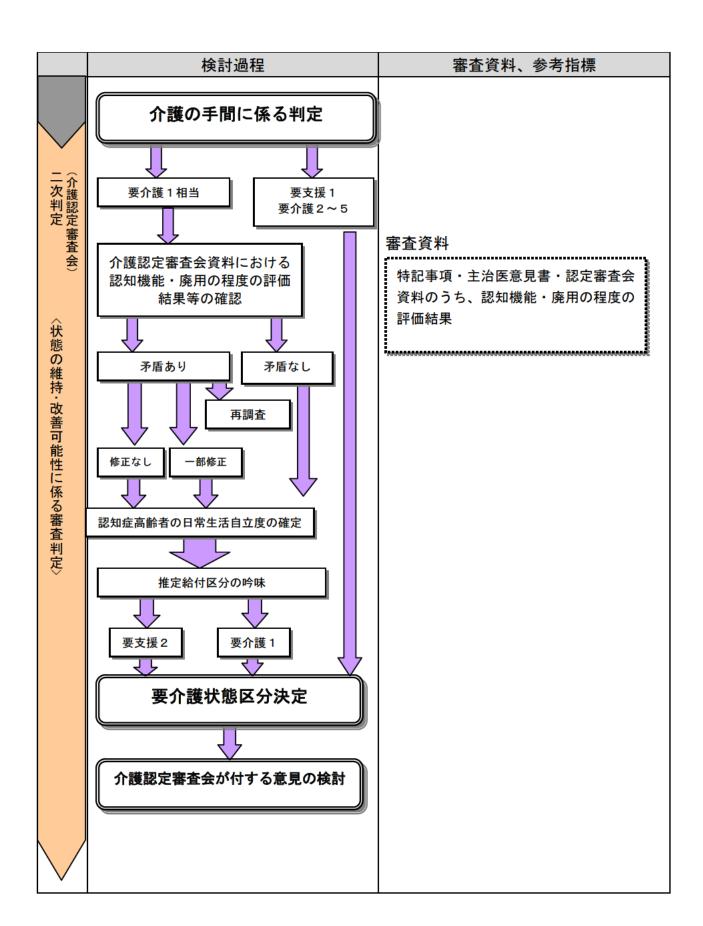
歩行	移動	日中の生活	外出頻度	環境等の 変化	給付種類	適用原則
できない	*	*	*	*	介護給付	1)
つかまれば可	全介助	横に	週1回以上	*	介護給付	2)
		座って	週1回以上	*	介護給付	2)
	一部介助	横に	週1回以上	なし	介護給付	3)

(「※」は上段の調査項目の基本調査結果の全ての場合が該当することを示す)

「介護給付」と判断される場合の基本原則(判断基準)

- 1) 身体機能が著しく低下している場合
- 2) 活動性は保たれているが、身体機能が相当低下している場合
- 3)環境・参加などの変化はないが、身体機能が相当低下しており、活動性もやや低下している場合
- 上記の表以外の組合せの場合は「予防給付」と提示する。





要介護状態等区分の変更等の際に勘案しない事項について

介護認定審査会における審査判定は、要介護認定等基準時間等に基づいて設定されている要介護認定基準及び要支援認定基準に照らして行うものであり、介護の手間に係る審査判定の際の具体的な検討においては、特記事項、主治医意見書の内容に基づき、通常の例に比べてより長い(短い)時間を介護に要するかどうかの判断に基づいて行うこととする。一次判定により示された要介護状態等区分の結果(以下「一次判定の結果」という。)を変更する際には、認定審査会資料に示された参考指標を検証のために使用しても差し支えない。

また、状態の維持・改善可能性の審査判定の際の具体的な検討においては、 認定審査会資料に示された認知機能・廃用の程度の評価結果を原案として、特 記事項、主治医意見書の内容に基づき、別紙5の「新予防給付の適切な利用が 見込まれない状態像」を参照して、要介護1又は要支援2のいずれの要介護状態等区分に該当するかの判断に基づいて行うこととする。ただし、以下に掲げ る事項を勘案して基本調査の調査結果の一部修正や一次判定の結果及び認知機 能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

I 基本調査結果の一部修正

以下の事項に基づいて基本調査の調査結果の一部修正を行うことはできない。ただし、基本調査では得られなかった状況が特記事項又は主治 医意見書の内容(認定審査会における認定調査員及び主治医の発言を含む。 以下同じ。)等によって新たに明らかになった場合は必要に応じて変更を行うことができる。

- 1 既に当初の一次判定の結果で勘案された心身の状況
 - 1) 基本調査の調査結果と一致する特記事項の内容 特記事項の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況が明 らかになっていない場合は、その内容に基づいて基本調査結果の一部修 正を行うことはできない。
 - 2) 基本調査結果と一致する主治医意見書の内容 主治医意見書の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況 が明らかになっていない場合は、その内容に基づいて基本調査結果の一 部修正を行うことはできない。
- 2 根拠のない事項
 - 1) 特記事項又は主治医意見書に基づかない審査対象者の状況 特記事項又は主治医意見書の内容に特に記載がない場合は、記載され ていない内容に基づいて基本調査結果の一部修正を行うことはできない。

Ⅱ 介護の手間に係る審査判定における一次判定結果の変更

以下の事項に基づいて一次判定の結果を変更することはできない。ただし、 特記事項又は主治医意見書の内容に基づいて介護に要する時間が延長又は短 縮していると判断される場合は一次判定の結果の変更を行うことができる。

- 1 既に当初の一次判定の結果で勘案された心身の状況
 - 1) 基本調査結果と一致する特記事項の内容 特記事項の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況が明 らかになっていない場合は、その内容に基づいて一次判定の結果の変更 を行うことはできない。
 - 2) 基本調査結果と一致する主治医意見書の内容 主治医意見書の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況が 明らかになっていない場合は、その内容に基づいて一次判定の結果の変更 を行うことはできない。
- 2 根拠のない変更
 - 1) 特記事項又は主治医意見書に基づかない審査対象者の状況 特記事項又は主治医意見書に特に記載されていない状況を理由として 一次判定の結果の変更を行うことはできない。
- 3 介護に要する時間とは直接的に関係しない事項
 - 1) 年齢

審査対象者の年齢を理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

2) 長時間を要するが自立している行為 ある行為について時間はかかるが自分で行っている(自立してる)場 合は、時間がかかっていることを理由として一次判定の結果の変更を行 うことはできない。

ただし、長時間を要する「見守り」を行っており、その「見守り」によって、介護に要する時間が延長又は短縮していると判断される場合は変更 を行うことができる。

3)参考指標

認定審査会資料に示された要介護認定等基準時間の行為の区分毎の時間等の参考指標の結果のみを理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

ただし、特記事項、主治医意見書の内容に基づき、介護に要する時間が延長又は短縮していると判断され、一次判定の結果の変更を行う際に、参考指標を検証のために使用することは差し支えない。

4) 認知機能・廃用の程度の評価結果

認定審査会資料に示された認知機能・廃用の程度の評価結果を理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

- 4 客観化できない心身の状況
 - 1) 審査対象者の意欲の有無

審査対象者の意欲の有無を理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

ただし、特記事項又は主治医意見書に記載されている内容に基づき、本人の意欲の有無が原因となって、介護に要する時間が延長又は短縮している具体的な状況が生じていると判断される場合は変更を行うことができる。

- 5 心身の状況以外の状況
 - 1) 施設入所・在宅の別、住宅環境

施設入所しているか又は在宅であるか、あるいは審査対象者の住宅環境を理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

ただし、特記事項又は主治医意見書に記載されている内容に基づき、施設入所・在宅の別、住宅環境が原因となって、介護に要する時間が延長または短縮していると判断される場合は変更を行うことができる。

2) 家族介護者の有無

家族介護者の有無を根拠として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

ただし、特記事項又は主治医意見書に記載されている内容に基づき、家族介護者の有無が原因となって、介護に要する時間が延長または短縮していると判断される場合は変更を行うことができる。

3) 抽象的な介護の必要性

特記事項又は主治医意見書に、「介護の必要性が高い」等の抽象的な介護の必要性に関する記載のみがあり、具体的な状況に関する記載がない場合は、その内容を理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

4) 審査対象者の希望

特記事項又は主治医意見書に、「本人は介護給付を希望している」等の記載があることを理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

5) 現に受けているサービス

特記事項又は主治医意見書に、「現に介護サービスを受けている」等の記載があることを理由として一次判定の結果の変更を行うことはできない。

Ⅲ 状態の維持改善可能性に係る審査判定における認知機能・廃用の程度の評価結果の変更

以下の事項に基づいて認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。ただし、特記事項又は主治医意見書の内容に基づいて別紙5に示した新予防給付の適切な利用が見込まれない状態像に該当する、あるいは該当しないと判定した場合には認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことができる。

- 1 既に認知機能・廃用の程度の評価結果で勘案された心身の状況
 - 1) 基本調査結果と一致する特記事項の内容 特記事項の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況が明らかになっていない場合は、その内容に基づいて認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。
 - 2) 基本調査結果と一致する主治医意見書の内容 主治医意見書の内容が基本調査の調査結果と一致し、特に新たな状況が 明らかになっていない場合は、その内容に基づいて認知機能・廃用の程度 の評価結果の変更を行うことはできない。

2 根拠のない変更

- 1) 特記事項又は主治医意見書に基づかない審査対象者の状況 特記事項又は主治医意見書に特に記載されていない状況を理由として 認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。
- 3 状態の維持・改善可能性とは直接的に関係しない事項
 - 1) 年齡

審査対象者の年齢を理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

2) 罹患している傷病

審査対象者の罹患している疾病や外傷の傷病名、あるいは、疾病や外傷の症状が不安定であることを理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。ただし、認知機能・廃用の程度の評価結果にて予防給付に相当するとされた審査対象者について、特記事項又は主治医意見書に記載されている内容に基づき、傷病や外傷により短期間で心身の状態が変化することが予想され、それに伴い要介護度の変化も短期間で生ずる恐れが高く、短期間(概ね6か月程度)での要介護状態の再評価が必要と判断される場合は変更を行うことができる。

3) 一次判定の結果

認定審査会資料に示された一次判定の結果を理由として認知機能・廃 用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

- 4 客観化できない心身の状況
 - 1) 審査対象者の意欲の有無

審査対象者の意欲の有無を理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

- 5 心身の状況以外の状況
 - 1) 施設入所・在宅の別、住宅環境

施設入所しているか又は在宅であるか、あるいは審査対象者の住宅環境を理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

2) 家族介護者の有無

家族介護者の有無を根拠として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

3) 抽象的な介護等の必要性

特記事項又は主治医意見書に、「介護の必要性が高い」、「介護給付がふさわしい」等の抽象的な記載のみがあり、具体的な状況に関する記載がない場合は、その内容を理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

4) 審査対象者の希望

特記事項又は主治医意見書に、「本人は介護給付を希望している」等の記載があることを理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変更を行うことはできない。

5) 現に受けているサービス

特記事項又は主治医意見書に、「現に介護予防サービスを受けている」 等の記載があることを理由として認知機能・廃用の程度の評価結果の変 更を行うことはできない。

日常生活自立度の組合せによる要介護度別分布

- 〇 本換算表は、「障害老人の日常生活自立度(寝たきり度)」と「認知症高齢者の日常生活自立度」の組合せ別に、自立(非該当)~要介護5がどの程度の割合で出現するかについて、平成16年に国に報告された結果を集計したものである。
- 本換算表は、集団としての一般的な傾向を統計量として示したものであり、 仮にある区分で 0 %と表示されていても、その区分に該当する者が皆無であ ることを意味するものではない。

認知症高齢者自立度: 自立

自立	J	Α	В	O
			נ	U
50%	10%	0%	0%	0%
40%	60%	20%	0%	0%
10%	30%	60%	10%	0%
0%	0%	20%	30%	0%
0%	0%	0%	40%	20%
0%	0%	0%	20%	40%
0%	0%	0%	0%	40%
100%	100%	100%	100%	100%
	40% 10% 0% 0% 0% 0%	40% 60% 10% 30% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%	40% 60% 20% 10% 30% 60% 0% 0% 20% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0% 0%	40% 60% 20% 0% 10% 30% 60% 10% 0% 0% 20% 30% 0% 0% 0% 40% 0% 0% 0% 20% 0% 0% 0% 0%

認知症高齢者自立度: Ⅲ

此况是问副自己之及: 显									
	自立	J	Α	В	O				
自立(非該当)	0%	0%	0%	0%	0%				
要支援1	0%	0%	0%	0%	0%				
要介護1相当	30%	20%	0%	0%	0%				
要介護2	40%	40%	30%	0%	0%				
要介護3	30%	30%	50%	20%	0%				
要介護4	0%	10%	20%	60%	30%				
要介護5	0%	0%	0%	20%	70%				
合計	100%	100%	100%	100%	100%				

認知症高齢者自立度: I

	自立	J	Α	В	С
自立(非該当)	20%	0%	0%	0%	0%
要支援1	70%	50%	10%	0%	0%
要介護1相当	10%	50%	60%	10%	0%
要介護2	0%	0%	20%	20%	0%
要介護3	0%	0%	10%	40%	10%
要介護4	0%	0%	0%	30%	40%
要介護5	0%	0%	0%	0%	50%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

認知症高齢者自立度: Ⅳ

			_		
	自立	J	Α	В	С
自立(非該当)	0%	0%	0%	0%	0%
要支援1	0%	0%	0%	0%	0%
要介護1相当	10%	0%	0%	0%	0%
要介護2	10%	10%	10%	0%	0%
要介護3	60%	50%	30%	0%	0%
要介護4	20%	40%	50%	50%	10%
要介護5	0%	0%	10%	50%	90%
合計	100%	100%	100%	100%	100%

認知症高齢者自立度: Ⅱ

心从此同即有日立及								
	自立	J	Α	В	С			
自立(非該当)	0%	0%	0%	0%	0%			
要支援1	40%	20%	0%	0%	0%			
要介護1相当	50%	60%	40%	0%	0%			
要介護2	10%	20%	40%	20%	0%			
要介護3	0%	0%	20%	40%	0%			
要介護4	0%	0%	0%	30%	40%			
要介護5	0%	0%	0%	10%	60%			
		,			•			
合計	100%	100%	100%	100%	100%			

認知症高齢者自立度: M

	五汉.	171			
	自立	J	Α	В	С
自立(非該当)	0%	0%	0%	0%	0%
要支援1	0%	0%	0%	0%	0%
要介護1相当	30%	20%	10%	0%	0%
要介護2	20%	20%	10%	0%	0%
要介護3	20%	30%	30%	10%	0%
要介護4	20%	20%	30%	30%	0%
要介護5	10%	10%	20%	60%	100%
			,	,	
合計	100%	100%	100%	100%	100%

要介護度変更の指標

- 本指標は、二次判定と一次判定を比較して、二次判定の要介護度がより軽度又は重度である者について統計的に処理を行い、調査項目の選択肢の傾向を分析したものである。
- 二次判定がより軽度である場合に、「自立」、「できる」等の選択肢が選択されていることが多い調査項目については、当該項目に「○」を表示し、二次判定がより重度である場合に、「見守り等」、「一部介助」、「できない」等の選択肢が選択されていることが多い調査項目については、当該項目に「●」を表示する。
- 項目の選定にあたっては、「〇」については各要介護度毎に3項目を、「●」については各要介護度毎に4項目を選択している。

要介護度変更の指標

(1)より軽度に変更

調査項目	選択肢		要支援1	要介護1 相当	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
飲水	一部介助以下	1,2,3						
食事摂取	一部介助以下	1,2,3						
意思の伝達	ときどきできる以下	1,2						
日常の意思決定	特別な場合以下	1,2						
毎日の日課を理解	できる	1						
短期記憶	できる	1						
口腔清潔	自立	1						
薬の内服	自立	1						
日常の意思決定 洗身	できる	1						
洗身	自立	1						
歩行	できる	1						
つめ切り	自立	1						
片足での立位	できる	1						
起き上がり	できる	1						
立ち上がり	できる	1						

(2)より重度に変更

調査項目	選択肢		自立	要支援1	要介護1 相当	要介護2	要介護3	要介護4
金銭の管理	一部介助以上	2,3						
日常の意思決定	特別な場合以上	2,3,4						
同じ話をする	ある	3						
短期記憶	できない	2						
金銭の管理	全介助	3						
毎日の日課を理解	できない	2						
今の季節を理解	できない	2						
薬の内服	一部介助以上	2,3						
口腔清潔	一部介助以上	2,3						
洗顔	一部介助以上	2,3						
整髪	一部介助以上	2,3						
場所の理解	できない	2						
移乗	全介助	4						
上衣の着脱	全介助	4						
洗顔	全介助	3						
自分の名前を言う	できない	2						
座位保持	できない	4						
飲水	全介助	4						
食事摂取	全介助	4						
えん下	できない	3						

日本日本			要支援1								(別紙フ	- 1)
1		状態像の例	要支援1-1	要支援1-2	要支援1-3	要支援1-4	要支援1-5	要支援1-6	要支援1-7	要支援1-8	要支援1-9	要支援1-10
The color of the	要介護	忍定等基準時間										27.8
10		排泄										0.7 0.5
### 15												1.0
1		間接	7.3	7.3	3.6	7.3	7.3	7.3	7.3	14.7	7.3	7.3
												0.4 1.2
(株理の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の		医療関連	5.9	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	6.5	9.1	7.5
1												
1												
株式 (中央		麻痺(右一上肢)	± Z		ある							
「		麻痺(右一下肢)	85.0		ある							
1-2		拘縮(肩関節)										
**										ある		
株式作名の	1-2	拘縮(膝関節)			ある							ある
「		拘縮(その他)	07.0	100.0	77.0	100.0	1000	1000	100.0		1000	
(株職権・設理する祖用)		中间評価項目点致	97.3	100.0	77.0	100.0	100.0	100.0	100.0	62.3	100.0	89.5
	,											
2-3	2-1	寝返り	~ ± ± 1. · *=	~ t, ± t, · *=		~ t, ± t, · *=	~ t, ± t, · *=	~ b + l · · *-		~ t, ± 1. · *=		~ b. ± l. · *=
24	2-3	座位保持	つかまれば可	フかまれば可	つかまれば可		つかまれば可				<u>自分で支え</u> れば可	つかまれば可
24 日本版 1 1 1 1 1 1 1 1 1												
「中国学出来目音数 100 201 773 603 200 683 1000 240 440 665 (名献在6年年に開発する項目) 773 7	2-6	移乗				5.,						
(金数10 9 m) 中 (2 1	中間評価項目点数	88.0	88.0	77.3	66.3	88.0	66.3	100.0	88.0	94.0	88.0
(金数10 9 m) 中 (第3群										
***		雑な動作等に関連する項目)		つかまれ げき	· ·	つかまればヨ	つかまればゴ	つかまればマ	つかまればす	1	つかまればゴ	つかまればゴ
中野性の自動性	3-2	片足での立位	支えが必要		支えが必要							フかまれば可
(特別なが接触に発達する項目) 4-17 に対応 4-17 に対応 4-17 に対応 4-17 に対応 4-18 連絡機 4-1	3-3		74.2	43.9	74.2	43.9	43.9	37.9	43.9	99.9	43.9	69.6
(特別なが接触に発達する項目) 4-17 に対応 4-17 に対応 4-17 に対応 4-17 に対応 4-18 連絡機 4-1			-									
4-22 人名下 (別な介護等に関連する項目)										
4-22 人名下 (4-1.7 4-1.1	じょくそう 皮膚疾患		ある	ある							
### 100.0 98.1 98.1 100.0 10	4-2	えん下										
# 中間神経項目点数 1000 981 981 1000 1000 1000 1000 1000 1	4-4	飲水										
# 5	4-5 4-6	排便										
(20回回) 90世話等に開達する項目) - 5-17 (20音楽選 - 5-17 (20音》 - 5-18 (20音》		中間評価項目点数	100.0	98.1	98.1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
5-17 日産清潔 5-17 財産 5-18 東京 5-	(f l. D)											
5-17 接受	5-1.7	口腔清潔										
5-1 I 2 かの 書談 一部介助 上述分面的的 上述分面的的 上述公面的的 上述公面的的 上述公面的的 上述公面的的 上述公面的的 上述公面的的 上述公面的的的 上述公面的的的 上述公面的的的 上述公面的的的的的的 上述公面的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的的	5-1.イ 5-1.ウ	洗顔 整髪										
5-24 「大水ン等の着製 5-3 「薬の内服 5-6 「最近の開発 - 5-6 「最近の開発 - 5-7 「東の財産項目直数 - 5-7 「東の財産項目直数 - 5-8 「東の財産項目直数 - 5-8 「東の財産項目直数 - 5-1 「東の財産項目直数 - 5-2 「東の財産項目直数 - 5-2 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目 - 5-3 「東の財産項目直数 - 5-3 「東の財産項目 - 5-3 「東の財産の関係 - 5-3 「東の財産項目 - 5-3 「東の財産 日本財産の財産可 - 5-3 「東の財産項目 - 5-3 「東の財産項目 - 5-3 「東の財産可 - 5-3 「東の財産 - 5-3 「東の	5-1.I	つめ切り	一部介助		全介助		一部介助			一部介助		
5-4 金銭の管理	5-2.1	ズボン等の着脱	±0 ∧ B4								ᆥᄼ	かんは
日常の意思決定 日常の信息機 100.0 94.2 100.0 100.0 94.2 77.7 82.1	5-4	金銭の管理	一部介助								一部介助	一部介助
### 100 100	5-5 5-6	電話の利用 日常の意思決定	一部介助 日常的に困難								一部介助 特別な場合	一部介助
1				100.0	92.8	100.0	94.2	100.0	100.0	94.2		82.1
6-1 接力 6-2 時力 6-3 意思の伝達 6-4 指示への反応 6-5.7 毎日の日課を理解 6-5.1 自分の名前をいう 6-5.1 自分の名前をいう 6-5.1 自分の名前をいう 6-5.7 海市の理解 6-6.5 海豚の理解 6-7.7 横置的 7.7 横置的 7.7 横置的 7.7 横震的 7.1 展別性が表現を表現 7.1 展別性が表現を表現 7.2 原情が不安定 7.3 原情が不安定 7.4 同じ話をする 7.5 同びほぞする 7.7 同じ話をする 7.7 同じ話をする 7.8 同じ話をする 7.9 大声をだす 7.7 大声をだす 7.9 大声の様簡 7.5 レどいめ忘れ												
6-2	6-1	視力					目の前が見える	1m先が見える				1m先が見える
6-4 指示への反応 6-5.7 毎日の理定理解 6-5.7 毎日の理定理解 6-5.1 知知性 6-5.1 知知性 6-5.1 知所の理解 6-5.1 相所の理解 6-5.3 相の理解 6-5.3 相の理解 6-5.3 相の理解 6-5.3 相の理解 6-5.4 中間評価項目点数	6-2	聴力	やっと聞える						ときどきできる			
6-5.1 生年月日をいう 6-5.2 自分の名前をいう 6-5.3 自分の名前をいう 6-5.3 自分の名前をいう 6-5.4 与の多前を理解 6-5.5 持所の理解 7-7 群番的 7-7 様番的 7-7 女権を持 7-7 大変を表	6-4	指示への反応					ときどき通じる		2020 (0.0)			
6-5.1 自分の名前をUN3 6-5.1 場所の理解 6-5.1 場所の理解 第7 群 (問題行動に関連する項目) 7.7 被害的 7.4 体語 7.1 駆情が不安定 7.1 駆情が不安定 7.1 駆情が不安定 7.1 駆情が不安定 7.1 駆情が不安定 7.2 素を選行 7.3 素情をなし 7.9 大声をピナ 7.7 人で出たがる 7.9 大の不始末 7.9 外やな類を聴す 7.7 火の不始末 7.9 外やな類を聴す 7.7 火の不始末 7.9 外を数類を表現を表す 7.7 火の不始末 7.9 異食行動 7.7 火の不発末 7.9 異食行動 7.7 火の不発末 7.7 火の不発末 7.9 異食行動 7.7 火の不発末 7.9 異食行動 7.7 火の不発末 7.9 異食行動	6-5.1	生年月日をいう										ぐさない
6-5.1 場所の理解 (問題行動に関連する項目) 7.7 体話 7.1 座標が不安定 7.1 座標が不安定 7.1 屋夜逆転 7.1 同し話をする 7.2 同じはをする 7.5 かして民れない 7.9 外出して民れない 7.9 外出して民れない 7.0 大脚を です。 7.0 大脚を です。 7.1 火の不始末 7.9 火の不始末 7.9 外のよ数を破壊す。 7.7 不潔行為 7.7 大きどきある ときどきある						できない					できない	
### ### #############################	6-5.才	今の季節を理解										
(問題行動に関連する項目) 7.7 被害的 7.4 作話 7.9 幻視幻聴 7.1 服情が不安定 7.1 昼夜逆転 7.1 最言暴行 7.1 方妻とどきある 7.2 下海をだす 7.3 大声をだす 7.4 小競に抵抗 7.1 常時の徘徊 7.7 外部にで見れない 7.2 常時の徘徊 7.7 外出にで見れない 7.2 収集癖 7.7 レの不治末 7.9 火の不治末 7.9 火の不治末 7.9 教や衣類を壊す 7.7 不深行為 7.7 大どい物忘れ	, 5.77	中間評価項目点数	88.3	100.0	100.0	94.0	80.5	87.9	94.4	100.0	88.1	82.0
7.7 被害的												
7.1 作話 7.1 以後知聴 7.2 感情が不安定 7.3 最夜遊転 7.3 最夜遊転 7.4 最夜遊転 7.5 以前に話さする 7.5 大声ださす 7.7 介護に抵抗 7.2 常時の徘徊 7.9 外出して戻れない 7.2 人で出たがる 7.2 人で出たがる 7.7 人で出たがる 7.7 人で出たがる 7.7 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.7 不潔行為 7.7 不潔行為 7.7 アンシい物忘れ 8 ときどきある					T				T	1	レきどきある	
7.1 歴情が不安定 7.1 基金運転 7.1 暴言暴行 7.2 前のに話をする 7.2 方をだす 7.5 方をだす 7.7 介護に抵抗 7.3 常時の徘徊 7.7 常ちの徘徊 7.7 常ち着をなし 7.2 か出して戻れない 7.2 小り出して戻れない 7.4 収集癖 7.7 火の不站末 7.9 物や衣類を壊す 7.7 不深行為 7.7 不深行為 7.7 でとい物忘れ	7.1	作話								しよじ土+フ	ときどきある	
7.カ 東音暴行 7.7	7.1 7.1	感情が不安定								ときどきある		
7.キ 同じ話をする 7.カ 大声をだす 7.カ 大声をだす 7.カ 介護に抵抗 7.コ 常時の徘徊 7.サ 落ち着さは 7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる 7.セ 収集癖 7.リ 火の不始末 7.タ 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.タ 男食行動 7.ア 以集合 7.ア アジン・シーン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	7.カ	暴言暴行										
7.カ 介護に抵抗 7.コ 常時の徘徊 7.サ 落ち着きなし 7.サ 落ち着きなし 7.シ 外出して戻れない 7.人 人で出たがる 7.セ 収集癖 7.サ 火の不治末 7.9 火の不治末 7.9 東食行動 7.7 アルウルのあれ 7.5 アルウルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカルのカル	7,+	同じ話をする										ある
7.サ 落ち着きなし 7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる 7.セ 収集癖 7.リ 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.ツ 異食行動 7.プ 以を診しい物忘れ 8 ときどきある 8 ときどきある 8 ときどきある 8 ときどきある 8 ときどきある 8 ときどきある	7.5	介護に抵抗										
7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる 7.セ 収集癖 7.ツ 火の不始末 7.タ 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.タ 異食行動 7.ア しどい物忘れ ときどきある ときどきある	7.サ	落ち着きなし									ときどきある	
7.セ 収集癖 7.ソ 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.7 不潔行為 7.ツ 異食行動 7.ア ひどい物忘れ ときどきある ある ときどきある	7.シ 7.ス	外出して戻れない						-				ときどきある
7.タ 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ ときどきある ある ときどきある	7.セ	収集癖							レキじキセフ			
7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ ときどきある ある ときどきある	7.9	物や衣類を壊す							८८८ ₹め			
7.テ ひどい物忘れ ときどきある ある ときどきある	7.ツ	異食行動										
		ひどい物忘れ	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0	100 0			924	ときどきある 91.9
	1	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	0-1.0	02.0	UZ.4	01.0

要介護1相当

	要介護14									
状態像の例 要介護認定等基準時間	要介護1相当-1	要介護1相当-2	要介護1相当-3 40.2	要介護1相当-4	要介護1相当-5 39.6	要介護1相当-6	要介護1相当-7 33.4	要介護1相当-8	要介護1相当-9	要介護1相当一1 34.9
食事	0.7 2.4	0.7 0.5	0.7 0.5	0.7 0.5	0.7 2.4	0.7 0.5	0.7 0.5	0.7 2.4	0.7 7.8	0.7 0.5
移動	1.0	1.0 8.6	1.0 8.6	4.6	1.0	1.0 4.2	1.0 4.2	1.0	4.6 4.2	1.0
間接問題行動	9.1 0.4	7.3 0.4	7.3 0.4	4.7 0.1	14.7 0.8	14.7	14.7	7.3 5.0	8.4 1.5	7.3
機能訓練医療関連	3.2 5.9	11.3 10.4	11.3 10.4	16.7 12.6	3.9 7.5	5.7 9.1	1.5 10.4	3.7 9.1	5.7 12.6	1.5 10.4
第1群										
(麻痺・拘縮に関連する項目) 麻痺(左ー上肢) 麻痺(右ー上肢)		ある	ある	ある	ある					
1-1 麻痺(左一下肢) 麻痺(右一下肢)		ある	ある	ある + 7	ある ある	ある	ある	ある	ある	ある
麻痺(その他) 拘縮(肩関節) 拘縮(肘関節)			ある	<u>ある</u> ある						
1-2 拘縮(股関節) 拘縮(膝関節) 拘縮(足関節)			ある		ある			ある		
拘縮(その他) 中間評価項目点数	100.0	87.5	61.2	71.7	73.5	97.3	97.3	86.8	97.3	97.3
第2群										
(移動等に関連する項目) 2-1 寝返り 2-2 起き上がり		つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可			つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可
2-3 座位保持 2-4 両足での立位				自分で支えれば可 支えが必要	自分で支えれば可 支えが必要	つかまた ばっ	つかまた ぼっ		支えが必要	
2-5 歩行 2-6 移乗 2-7 移動		つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 見守り等 見守り等	つかまれば可 見守り等	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 見守り等	
中間評価項目点数	100.0	66.8	77.5		40.4	89.5	89.5	77.5	58.0	88.0
第3群 (複雑な動作等に関連する項目)		つかまればヨ 「	つかまればっ	つかまればヨー	できたい	 	つかまればヨー	つかまればヨー	つかまればヨ 「	つかまれば可
3-1 立ち上がり 3-2 片足での立位 3-3 洗身	一部介助	つかまれば可 支えが必要 一部介助	つかまれば可 支えが必要 一部介助	つかまれば可 支えが必要	できない 支えが必要	一部介助	つかまれば可 支えが必要 一部介助	つかまれば可 支えが必要 一部介助	つかまれば可 支えが必要 一部介助	支えが必要
中間評価項目点数	100.0	44.0	44.0	43.9	34.8	100.0	44.0	44.0	44.0	43.9
第4群 (特別な介護等に関連する項目) I-1.7 じょくそう				Г						
I-1.イ 皮膚疾患 I-2 えん下							ある			
-3 食事摂取 -4 飲水	日内以佐				見守り等	見守り等				見守り等
4-5 排尿 4-6 排便 中間評価項目点数	見守り等 90.6	100.0	100.0	100.0	90.3	90.2	98.1	100.0	一部介助 89.2	90.2
第5群										
(身の回りの世話等に関連する項目) 5-1.7 口腔清潔 5-1.4 洗顔					一部介助					
5-1.ウ 整髪 5-1.エ つめ切り	一部介助 全介助	一部介助	一部介助	全介助	一部介助		一部介助			一部介助
5-2.7 上衣の着脱 5-2.4 ズボン等の着脱	45 4 51		見守り等	見守り等	±0 A 51	+a A 51				見守り等
5-3 薬の内服 5-4 金銭の管理	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助 一部介助	一部介助	一部介助	一部介助 一部介助	一部介助	一部介助
5-5 電話の利用 5-6 日常の意思決定 中間評価項目点数	一部介助 特別な場合 72.4	88.2	82.8	81.6	一部介助 71.5	一部介助 特別な場合 83.7	88.2	一部介助 日常的に困難 74.2	93.3	一部介助 77.6
第6群			52.0		,	55.7			55.01	, , , ,
コミュニケーション等に関連する項目 -1 視力 -2 聴力	1m先が見える やっと聞える			1m先が見える やっと聞える		1m先が見える やっと聞える		大声が聞える		
-2 応力 -3 意思の伝達 -4 指示への反応	、プロ用したる			、ノに用える		ときどきできる		ングーと、日本	ときどきできる ときどき通じる	
-5.7 毎日の日課を理解 -5.1 生年月日をいう					できない			できない		
i-5.ウ 短期記憶 i-5.エ 自分の名前をいう										
i-5.オ 今の季節を理解 i-5.カ 場所の理解										
中間評価項目点数 第7群	76.2	100.0	100.0	76.2	94.1	70.6	100.0	80.4	86.3	100.
(問題行動に関連する項目)						<u> </u>	ある	ときどきある		
7.イ 作話 7.ウ 幻視幻聴							ある ある	, _		ある ときどきある
7.1 感情が不安定 7.オ 昼夜逆転					ときどきある ときどきある	ある ときどきある	ときどきある			ときどきある
.カ 暴言暴行 .キ 同じ話をする .ク 大声をだす						ときどきある		ときどきある		ときどきある
.ケ 介護に抵抗 .コ 常時の徘徊										ときどきある
7.サ 落ち着きなし 7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる								ときどきある ときどきある ある	ある	ときどきある ある
7.4 収集癖 7.7 火の不始末						ときどきある ときどきある		හත	ときどきある	<i>හ</i> ත
7.9 物や衣類を壊す 7.5 不潔行為										ときどきある
7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ 中間評価項目点数	100.0	100.0	100.0	100.0	ときどきある 93.8	ときどきある 85.4	81.7	ときどきある 81.7	ときどきある 88.8	ときどきある 72.6
11時計圖名日示数	100.0	100.0	100.0	100.0	33.0	00.4	01.7	01./	00.0	12.0

	要介護2									
状態像の例	要介護2-1	要介護2-2	要介護2-3	要介護2-4	要介護2-5	要介護2-6	要介護2-7	要介護2-8	要介護2-9	要介護2-10
要介護認定等基準時間	64.9	57.1	65.7	61.4	67.8	57.9	52.3	52.6	55.2	56.0
食事排泄	0.7 3.1	0.7 21.3	0.7 16.9	0.7 3.1	0.7 3.1	14.6 3.1	0.7 22.6	0.7 8.7	0.7 7.8	0.7 14.4
移動	11.3	2.7	9.4	4.6	4.6	9.4	1.0	2.7	2.7	5.5
清潔保持間接	20.0 13.2	16.5 3.6	15.6 6.5	20.0 13.2	20.0 13.2	4.2 14.0	4.2 14.7	8.6 14.7	11.1 14.7	11.1 7.3
問題行動機能訓練	0.1 3.9	0.4 1.5		0.4 9.3	0.4 16.7	0.1 3.9	0.1 1.5	1.5 7.1	7.6 1.5	2.2 5.7
医療関連	12.6	10.4		10.1	9.1	8.6	7.5	8.6	9.1	9.1
第1群										
(麻痺・拘縮に関連する項目) 麻痺(左ー上肢)			ı		ある					1
麻痺(右一上肢)		ある						ある		
1-1 麻痺(左一下肢) 麻痺(右一下肢)	<u>ある</u> ある		<u>ある</u> ある		ある	ある	ある	ある	ある	ある
麻痺(その他) 拘縮(肩関節)		ある								
拘縮(肘関節) 拘縮(股関節)		.,,								
¹⁻² 拘縮(膝関節)			ある				ある			
拘縮(足関節) 拘縮(その他)										
中間評価項目点数	86.5	81.5	76.0	100.0	87.5	97.3	86.8	87.5	97.3	97.3
第2群										
(移動等に関連する項目) 2-1 寝返り	Г	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可		I	つかまれば可		
2-2 起き上がり 2-3 座位保持	自分で支えれば可	つかまれば可	つかまれば可支えが必要	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可		
2-4 両足での立位	支えが必要		支えが必要		~ t, ± t. · *=	支えが必要	支えが必要	支えが必要	~ b. ± l. · *=	~ b ± l · · *=
2-5 歩行 2-6 移乗	つかまれば可 見守り等	つかまれば可	つかまれば可 一部介助	見守り等	つかまれば可 見守り等	つかまれば可 一部介助	できない	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可
2-7 移動 中間評価項目点数	見守り等 54.8	53.4	見守り等	69.0	見守り等 49.3	見守り等 44.3	見守り等 55.3	55.6	89.5	見守り等 80.3
	J4.0	55.4	20.2	03.0	40.0	44.0	00.0	55.0	0.50	00.3
第3群 (複雑な動作等に関連する項目)										
3-1 立ち上がり	つかまれば可 できない	つかまれば可	つかまれば可 できない	つかまれば可	つかまれば可	できない	つかまれば可 できない	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可
3-3 洗身	一部介助	支えが必要 全介助	一部介助	支えが必要 一部介助	支えが必要 一部介助	支えが必要 一部介助	一部介助	支えが必要 全介助	支えが必要 一部介助	できない
中間評価項目点数	38.0	21.0	38.0	44.0	44.0	34.9	38.0	21.0	44.0	37.9
第4群										
(特別な介護等に関連する項目) 4-1.7 じょくそう										
4-1.イ 皮膚疾患 4-2 えん下					ある	ある				
4-3 食事摂取	見守り等				見守り等	一部介助				
4-5 排尿	見守り等			見守り等	見守り等	一部介助	全介助	見守り等	一部介助	
4-6 排便 中間評価項目点数	80.5	一部介助 89.2	一部介助 89.2	見守り等 81.3	78.6	70.6	全介助 73.0	90.6	一部介助 78.1	100.0
第5群			•				•			
(身の回りの世話等に関連する項目)										
5-1.7 口腔清潔 5-1.4 洗顔	一部介助						一部介助	一部介助	一部介助	全介助
5-1.ウ 整髪 5-1.エ つめ切り	全介助	全介助		全介助	全介助	一部介助	一部介助	一部介助 一部介助		
5-2.ア 上衣の着脱		全介助	見守り等	見守り等	見守り等	見守り等	見守り等	見守り等	÷n ∧ n⊥	一部介助
5-2.イ ズボン等の着脱 5-3 薬の内服	見守り等 一部介助	全介助	一部介助 一部介助	見守り等 一部介助	見守り等	見守り等 一部介助		一部介助	一部介助 全介助	全介助
5-4 金銭の管理 5-5 電話の利用	全介助 全介助	一部介助 全介助	全介助	全介助	一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	一部介助 全介助	一部介助 一部介助
5-6 日常の意思決定			特別な場合	特別な場合	できない	特別な場合		できない	特別な場合	特別な場合
中間評価項目点数	59.1	56.9	68.9	62.8	66.2	59.0	70.9	45.8	58.8	56.4
第6群 コミュニケーション等に関連する項目										
6-1 視力			以_1.00~~	(エレノ 1988 ラコ*	十 <u>十</u> 12000~ 7					1m先が見える
6-2 聴力 6-3 意思の伝達			やっと聞える	ほとんど聞えず ときどきできる	大声が聞える ときどきできる					
6-4 指示への反応 6-5.7 毎日の日課を理解	できない				ときどき通じる	できない				
6-5.イ 生年月日をいう 6-5.ウ 短期記憶							できない	できない		
6-5.エ 自分の名前をいう							CC461	CC461		_ 4- t. ·
6-5.オ 今の季節を理解 6-5.カ 場所の理解										できない
中間評価項目点数	94.1	100.0	88.3	79.4	72.6	94.1	94.0	94.0	100.0	81.1
第7群										
(問題行動に関連する項目) 7.7 被害的							ときどきある			ときどきある
7.4 作話 7.ウ 幻視幻聴							ときどきある		ある	ときどきある
7.エ 感情が不安定							ときどきある	ある	ある	1.418444
7.才 昼夜逆転 7.カ 暴言暴行									ときどきある	<u>ときどきある</u> ときどきある
7,キ 同じ話をする 7.ク 大声をだす		-			-		ときどきある	ときどきある ときどきある	-	ときどきある ある
7.ケ 介護に抵抗							ときどきある		± Z	ときどきある
7.サ 落ち着きなし								ときどきある	ある ある	ときどきある
7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる									<u>ある</u> ある	ときどきある ある
7.セ 収集癖 7.ソ 火の不始末								ときどきある		ときどきある
7.9 物や衣類を壊す								CCCC80	+ 7	CCCC000
7.5 不潔行為 7.9 異食行動									<u>ある</u> ある	
7.テ ひどい物忘れ 中間評価項目点数	100.0	100.0	100.0	ときどきある 97.6	ときどきある 97.6	ときどきある 97.6	88.3	ときどきある 84.4	50.6	67.9
1 回 京 回 不 知 不 以	100.0	100.0	100.0	57.0	57.0	37.0	00.0	07.4	30.0	07.3

	要介護3									
状態像の例	要介護3-1	要介護3-2	要介護3-3	要介護3-4	要介護3-5	要介護3-6	要介護3-7	要介護3-8	要介護3-9	要介護3-10
要介護認定等基準時間	73.4	81.0	74.1	85.4	77.5	74.4	75.9	85.1	74.8	84.8
食事 排泄	0.7 21.3	3.1 26.3	0.7 17.7	5.7 21.3	0.7 14.4	0.7 16.9	0.7 16.9	0.7 22.6	0.7 4.8	3.1 24.8
排泄 移動 清潔保持	5.5	9.6	4.6	17.1	16.7	9.4	16.7	17.1	23.8	9.6
間接	16.5 14.7	18.8 13.3	17.0 4.7	17.0 8.4	24.2 14.0	20.0 13.3	15.6 7.8	18.8 7.8	15.8 14.0	21.3 13.3
問題行動 機能訓練	7.1	0.1 3.9	0.1 16.7	0.1 9.9	0.1 1.5	0.1 3.9	2.6 9.9	0.1 8.9	1.6 4.0	0.8
医療関連	7.5	5.9		5.9	5.9	10.1	5.7	9.1	10.1	10.1
第1群										
(麻痺・拘縮に関連する項目) 麻痺(左ー上肢)	ある		ある				ある			
麻痺(右一上肢)		ある		ある	L -			L 7		
1-1 麻痺(左一下肢) 麻痺(右一下肢)	ある	ある	ある	ある	ある	ある	ある	<u>ある</u> ある	ある	
麻痺(その他) 拘縮(肩関節)		ある	<u>ある</u> ある					ある		
拘縮(肘関節)			83.8							
1-2 拘縮(股関節) 拘縮(膝関節)					ある		ある	ある		ある
拘縮(足関節) 拘縮(その他)			ある		ある		-			
中間評価項目点数	87.5	87.5	නව 71.7	87.5	67.3	97.3	77.0	76.0	97.3	89.
第2群										
(移動等に関連する項目)										
2-1 寝返り 2-2 起き上がり	つかまれば可 つかまれば可	できない できない	できない できない	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可
2-3 座位保持	支えが必要	支えが必要		自分で支えれば可			自分で支えれば可	自分で支えれば可		支えが必要
2-4 両足での立位 2-5 歩行	支えが必要 つかまれば可	支えが必要 できない	支えが必要 つかまれば可	支えが必要 できない	できない できない	支えが必要 できない	支えが必要 つかまれば可	できない できない	支えが必要 つかまれば可	できない できない
2-6 移乗 2-7 移動	見守り等	一部介助	見守り等 見守り等	見守り等 見守り等	一部介助 見守り等	一部介助 一部介助	一部介助 見守り等	全介助	一部介助 一部介助	全介助 見守り等
2-7 修勁 中間評価項目点数	<u>見可り等</u> 33.0	21.6	兄寸り寺 32.1	見可り寺 30.3	兄寸り寺 39.4	28.5	兄寸り寺 27.6	40.6	一部分別 41.0	<u>兄寸り寺</u> 24.
第3群										
(複雑な動作等に関連する項目)	O#+*'*	~+.tv) ·	0 h + h / # = 1	0 V + T / 8 - 1		0 h + h / # =	0 to + 1 to 1 to -		0 Pr + Tr 1 # = 1	~ v + r · » –
3-1 立ち上がり 3-2 片足での立位	つかまれば可 できない	できない 支えが必要	つかまれば可 できない	つかまれば可 できない	できない できない	つかまれば可 できない	つかまれば可 できない	できない できない	つかまれば可 できない	つかまれば可 できない
3-3 洗身 中間評価項目点数	全介助 15.0	一部介助 34.9	行っていない 9.1	全介助 15.0	一部介助 28.9	全介助 15.0	一部介助 38.0	一部介助 28.9	全介助 15.0	一部介助 38.0
	10.0	04.0	5.1	10.0	20.0	10.0	00.0	20.5	10.0	30.0
第4群 (特別な介護等に関連する項目)										
4-1.ア じょくそう	L 7					± 7			L 7	
4-1.イ 皮膚疾患 4-2 えん下	ある			見守り等	見守り等	ある			ある	
4-3 食事摂取 4-4 飲水	見守り等		一部介助	一部介助	見守り等 見守り等		見守り等 見守り等	見守り等 見守り等	一部介助	見守り等
4-5 排尿	見守り等		一部介助	一部介助	見守り等	見守り等	一部介助	一部介助	נעב וליום	見守り等
4-6 排便 中間評価項目点数	一部介助 68.2	一部介助 89.2	一部介助 64.1	一部介助 51.0	見守り等 48.2	一部介助 77.9	一部介助 58.6	一部介助 58.6	84.1	一部介助 70.0
第5群										
(身の回りの世話等に関連する項目)										
5-1.7 口腔清潔 5-1.7 洗顔	一部介助 一部介助	一部介助	一部介助	全介助	一部介助	全介助	一部介助 一部介助	一部介助	全介助 全介助	一部介助
5-1.ウ 整髪	HF71 -23	一部介助	A A 84	A A B4	一部介助	一部介助	HF71 -93	一部介助		全介助
5-1.エ つめ切り 5-2.ア 上衣の着脱	一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助	見守り等	全介助 見守り等	全介助	一部介助 見守り等
5-2.イ ズボン等の着脱 5-3 薬の内服	全介助 全介助	全介助 一部介助	一部介助	全介助 一部介助	全介助	一部介助	一部介助 一部介助	全介助 全介助	全介助	一部介助 全介助
5-4 金銭の管理	全介助	全介助	一部介助	一部介助	全介助	全介助	一部介助	一部介助	全介助	全介助
5-5 電話の利用 5-6 日常の意思決定		全介助 できない	一部介助	全介助 特別な場合	一部介助 特別な場合	全介助 特別な場合	全介助 特別な場合	全介助 特別な場合	できない	全介助 日常的に困難
中間評価項目点数	53.9	32.6	64.2	39.2	44.6	49.8	53.5	37.9	40.2	31.5
第6群										
コミュニケーション等に関連する項目 6-1 視力	Г	1m先が見える		I	1			ı		1m先が見える
6-2 聴力		,3/0 /6/6/0				大声が聞える	やっと聞える		大声が聞える	大声が聞える
6-3 意思の伝達 6-4 指示への反応					ときどき通じる					ときどきできる ときどき通じる
6-5.7 毎日の日課を理解 6-5.イ 生年月日をいう		できない				できない			できない できない	できない
6-5.ウ 短期記憶	できない					できない	できない		できない	
6-5.x 自分の名前をいう 6-5.x 今の季節を理解						できない	できない		できない	
6-5.カ 場所の理解 中間評価項目点数	94.0	82.0	100.0	100.0	91.9	67.6	できない 67.8	100.0	46.2	54.6
	0 1.0	02.0	100.0	100.0	01.0	07.0	57.0	100.0	70.2	34.0
第7群 (問題行動に関連する項目)										
7.7 被害的										
7.ウ 幻視幻聴									ときどきある	ある
7.エ 感情が不安定 7.オ 昼夜逆転	ときどきある						ときどきある			<u>ある</u> ある
7.カ 暴言暴行								ある ときどきある	ときどきある	
7.キ 同じ話をする 7.ク 大声をだす								ときどきある	ある	ときどきある ある
7.ケ 介護に抵抗 7.コ 常時の徘徊							ときどきある	ときどきある	-	ときどきある
7.サ 落ち着きなし							ときどきある			
7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる										
7.セ 収集癖										
7.y 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す									ときどきある	
7.5 不潔行為		-				-	ときどきある		ときどきある	
	I			1					レきときから	
7.7 異食行動 7.7 以 をい物忘れ 中間評価項目点数	97.8	100.0	100.0	100.0	100.0	ある 97.2	ときどきある 90.2	ときどきある 85.9	ときどきある ある 83.9	78.

		要介護4									
	状態像の例	要介護4-1	要介護4-2	要介護4-3	要介護4-4	要介護4-5	要介護4-6	要介護4-7	要介護4-8	要介護4-9	要介護4-10
要介護	認定等基準時間 食事	99.1 3.1	102.9 3.1	107.5 5.7	104.4 3.1	100.3 5.7	105.6 31.0	99.6 15.7	97.9 23.8	108.9 26.6	93.7 14.6
	排泄 移動	26.7 24.4	26.3 29.5	26.3 22.0	26.7 19.2	21.3 17.6	20.1 17.8	28.1 15.7	24.2 15.7	24.2 20.1	26.3 15.7
	清潔保持 間接	18.8 13.3	27.4 7.9	24.2 20.8	27.4 13.3	27.4 15.3	17.8 6.2	16.5 7.8	14.2 7.8	17.8 14.4	17.0 8.4
	問題行動機能訓練	0.1 6.8	0.1 2.5	0.1 2.5	0.1 8.5	0.1 6.8	0.1 2.5	0.8 2.5	0.8 5.7	0.1	0.1 2.5
	医療関連	5.9	6.1	5.9		6.1	10.1	12.5	5.7	4.7	9.1
(6	第1群 麻痺・拘縮に関連する項目)										
	麻痺(左一上肢)	ある	ある	ある	ある		ある	ある	ある		ある
1-1	麻痺(左一下肢) 麻痺(右一下肢)	ある	ある	ある	ある ある	ある ある	<u>ある</u> ある	ある	ある	ある ある	ある
	麻痺(その他) 拘縮(肩関節)	ある	ある	ある	<u>ある</u> ある	ある					
1-2	拘縮(肘関節) 拘縮(股関節)					ある				ある	
1 2	拘縮(膝関節) 拘縮(足関節)		<u>ある</u> ある	ある	<u>ある</u> ある	<u>ある</u> ある				ある	
	拘縮(その他) 中間評価項目点数	71.7	41.7	61.2	38.2	ある 24.4	84.0	87.5	87.5	54.1	87.5
	第2群										
2-1	(移動等に関連する項目) 寝返り	つかまれば可	できない	できない	できない		つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	できない	できない
2-2 2-3	起き上がり 座位保持	できない 支えが必要		できない 自分で支えれば可		つかまれば可 自分で支えれば可	つかまれば可 支えが必要	できない	できない 自分で支えれば可	つかまれば可 支えが必要	つかまれば可
2-4 2-5	両足での立位 歩行	できない できない	支えが必要 つかまれば可	支えが必要 できない	支えが必要 できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	支えが必要 つかまれば可
2-6 2-7	移乗	全介助 一部介助	一部介助 一部介助	全介助 見守り等	一部介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	一部介助 見守り等	一部介助	全介助 全介助	見守り等
	中間評価項目点数	7.8	26.5	17.8	9.1	28.1	8.6	26.5	29.7	4.8	43.5
(複	第3群 [雑な動作等に関連する項目)										
3-1 3-2	立ち上がり	できない できない	できない できない	できない できない	つかまれば可 できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	つかまれば可 できない
3-3	洗身 中間評価項目点数	全介助 5.9	行っていない 0.0	全介助 5.9	全介助	全介助 5.9	全介助 5.9	全介助 5.9	全介助 5.9	全介助	全介助
	第4群	5.9	0.0	5.9	15.0	5.9	5.9	5.9	5.9	5.9	15.0
	別な介護等に関連する項目)				Γ						
4-1.7 4-1.1	じょくそう 皮膚疾患						ある				
4-2 4-3	えん下 食事摂取	見守り等		見守り等 一部介助		一部介助	全介助	見守り等 一部介助	一部介助	一部介助	一部介助
4-4 4-5	飲水 排尿	見守り等 見守り等	一部介助 全介助	全介助	全介助	見守り等 見守り等	一部介助 全介助	一部介助 一部介助	全介助 一部介助	一部介助 全介助	全介助 見守り等
4-6	排便 中間評価項目点数	一部介助 60.3	全介助 59.0	全介助 45.9	全介助 73.0	一部介助 56.6	全介助 38.3	全介助 34.4	一部介助 45.2	全介助 45.5	全介助 44.3
	第5群										
	回りの世話等に関連する項目) 口腔清潔	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	一部介助	全介助	全介助	一部介助	全介助	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ		一部介助 一部介助	一部介助 一部介助	一部介助 全介助	一部介助 一部介助	一部介助	一部介助 一部介助	一部介助 全介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助
5-1.I 5-2.7	上衣の着脱	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 見守り等	全介助 全介助
5-2.1 5-3	ズボン等の着脱 薬の内服	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助
5-4 5-5	金銭の管理 電話の利用	一部介助 全介助	全介助 一部介助	全介助 一部介助	一部介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助
5-6	日常の意思決定 中間評価項目点数	日常的に困難 33.2	特別な場合 33.3	できない 20.7	できない	できない 32.1	特別な場合 18.9	できない 6.3	できない 12.6	できない 5.7	できない
	第6群										
コミュ 6-1	ニケーション等に関連する項目 視力		1		1m先が見える	1m先が見える	目の前が見える	1m先が見える			
6-2 6-3	恵力意思の伝達	ときどきできる		やっと聞える ときどきできる			大声が聞えるほとんど不可	ときどきできる	やっと聞える ほとんど不可	ときどきできる	ときどきできる
6-4 6-5.7	指示への反応 毎日の日課を理解	できない	ときどき通じる できない		ときどき通じる	できない	できない	できない	できない	できない	ときどき通じる できない
6-5.1	生年月日をいう短期記憶	できない				できない	できない	できない	できない	できない	できない
6-5.I	自分の名前をいう 今の季節を理解						できない	できない	できない	できない	
	場所の理解中間評価項目点数	82.5	86.0	82.7	79.8	76.0	46.4	63.6	できない	できない 60.3	できない 66.7
	第7群	02.0	00.01	52.7	70.0	7 0.01		00.0		00.0	00.7
	(問題行動に関連する項目)				Т						
7.7 7.4	被害的 作話								1.4.194.4.7		ある
7.ウ 7.エ	幻視幻聴 感情が不安定							ある	ときどきある ある		ときどきある
7.オ 7.カ	昼夜逆転 暴言暴行							ときどきある	ときどきある		1.4.194.4.7
7, ‡	同じ話をする 大声をだす						ある		121011 =	ある	ときどきある
7. <i>†</i>	介護に抵抗 常時の徘徊								ときどきある	ときどきある	ときどきある
7.サ 7.シ	落ち着きなし 外出して戻れない										
7.ス 7.セ	一人で出たがる 収集癖										
7.7 7.\$	火の不始末 物や衣類を壊す									ある	
7.チ 7.ツ	不潔行為 異食行動										ときどきある
7.7	ひどい物忘れ 中間評価項目点数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	ある 92.0	ある 91.6	ある 87.3	ある 86.9	ある 83.1

		要介護5									
	状態像の例	要介護5-1	要介護5-2	要介護5-3	要介護5-4	要介護5-5	要介護5-6	要介護5-7	要介護5-8	要介護5-9	要介護5-10
要介護	認定等基準時間	127.9	127.6	125.1	120.9	120.6	121.2	118.6	121.5	116.1	123.4
	排泄	38.2 23.5	38.2 23.5	31.0 21.9	38.2 21.0	46.0 18.2	46.3 21.6	40.8 18.2	38.2 18.2	38.2 21.4	40.8
	移動	16.9	16.9	19.6	19.5	14.6	16.0	14.6	16.9	12.4	24.1
	清潔保持 間接	22.0 13.2	21.4 13.2	21.4 21.1	18.9 13.2	16.8 16.2	15.4 7.8	18.9 13.2	19.9 13.2	11.8 13.2	13.2 7.8
	問題行動 機能訓練	0.1 7.9	0.1 2.5	0.1 3.9	0.1 0.4	0.1 0.4	0.1 2.9	4.7 2.9	0.1 3.2	0.1 2.9	5.4 2.2
	医療関連	6.1	11.8	6.1	9.6	8.3	11.1	5.3	11.8	16.1	5.7
	第1群										
(麻	(痺・拘縮に関連する項目)			± 7	± 7	± 7	± 7	± 7	± 7	± 7	
	麻痺(左一上肢) 麻痺(右一上肢)	ある	ある	ある ある	ある	ある ある	ある ある	ある ある	ある ある	ある	
1-1	麻痺(左一下肢) 麻痺(右一下肢)	ある	ある	<u>ある</u> ある	ある	<u>ある</u> ある	<u>ある</u> ある	ある ある	ある ある	ある	<u>ある</u> ある
	麻痺(その他)	ある		ある	4 7	ある				ある	0,0
	拘縮(肩関節) 拘縮(肘関節)	ある	ある	ある	ある	ある ある	ある ある	ある	ある ある	ある ある	
-2	拘縮(股関節) 拘縮(膝関節)	ある	ある ある	ある	ある	ある	ある ある	ある	ある ある	ある ある	ある
	拘縮(足関節)		ある	<i>85/</i> 0	ある	ある	ある		ある	ある	
	拘縮(その他) 中間評価項目点数	49.3	25.4	51.6	41.7	16.3	ある 0.0	51.9	0.0	3.5	70.
	第2群			•	•	•	•				
(・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
2-1 2-2	寝返り	できない できない	つかまれば可 できない	できない できない	つかまれば可 できない	できない できない	できない できない	つかまれば可 できない	できない できない	できない できない	つかまれば可
-3	座位保持	支えが必要	支えが必要	支えが必要	できない	できない	できない	できない	支えが必要	できない	自分で支えればて
-4 -5	両足での立位 歩行	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	支えが必要 できない
-6	移乗	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	一部介助
-7	移動 中間評価項目点数	<u>一部介助</u> 4.0	全介助 6.4	全介助 2.6	全介助 3.8	全介助 0.0	全介助 0.0	一部介助 5.2	全介助 2.6	全介助 0.0	全介助 31.
								<u></u>			
(複氣	第3群 雑な動作等に関連する項目)										
-1 -2	立ち上がり 片足での立位	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	つかまれば可 支えが必要
	洗身	行っていない	行っていない	全介助	全介助	行っていない	行っていない	行っていない	全介助	全介助	全介助
	中間評価項目点数	0.0	0.0	5.9	5.9	0.0	0.0	0.0	5.9	5.9	21.0
	第4群										
	別な介護等に関連する項目) じょくそう		1	1	1	ある	ある			ある	
-1.∤	皮膚疾患		目内口体	日内口佐	ある		ある		日本八巻	ある	日本以佐
- <u>2</u> -3	えん下 食事摂取	見守り等 全介助	見守り等 全介助	見守り等 全介助	全介助	見守り等 全介助	見守り等 全介助	全介助	見守り等 全介助	見守り等 全介助	見守り等 全介助
-4 -5	飲水	全介助	全介助 見守り等	一部介助 全介助	全介助 見守り等	全介助	一部介助 見守り等	全介助 見守り等	全介助	全介助	一部介助 見守り等
-5 -6	排便	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助
	中間評価項目点数	21.2	25.4	26.6	37.1	9.4	17.1	39.0	21.2	7.5	30.8
(自.小「	第5群 回りの世話等に関連する項目)										
-1.7	口腔清潔	一部介助	一部介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助
−1.イ −1.ウ	洗顔 整髪	一部介助 一部介助	一部介助 全介助	一部介助 一部介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助
-1.I	つめ切り	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助	全介助
	上衣の着脱 ズボン等の着脱	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助	全介助 全介助
-3	薬の内服	一部介助	一部介助 全介助	一部介助 一部介助	全介助	全介助	全介助	全介助	一部介助	全介助	全介助 全介助
-4 -5	金銭の管理電話の利用	一部介助	一部介助	全介助	全介助 一部介助	全介助 全介助	全介助 全介助	一部介助	一部介助 一部介助	一部介助	全介助
-6	日常の意思決定 中間評価項目点数	できない 26.9	できない 20.7	特別な場合 25.9	できない 3.3	特別な場合 6.4	できない 0.0	できない 3.3	できない 10.3	できない 3.3	できない 0.0
			1		-79		-191	[• [-10	
E 1	第6群 ニケーション等に関連する項目										
	視力	1m先が見える	やっと聞える	目の前が見える	1m先が見える やっと聞える	1m先が見える やっと聞える		1m先が見える 大声が聞える	やっと聞える		1m先が見える やっと聞える
-3	意思の伝達			ときどきできる		ときどきできる	できない	ほとんど不可	ときどきできる	ときどきできる	ほとんど不可
-4 -5.7	指示への反応 毎日の日課を理解	できない	ときどき通じる できない	ときどき通じる できない	ときどき通じる できない	ときどき通じる できない	ときどき通じる できない	ときどき通じる できない	できない	できない	通じない できない
-5.1	生年月日をいう				できない	できない	できない	できない	できない	できない	できない
-5.ウ -5.エ	短期記憶 自分の名前をいう	できない			できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない	できない	できない
·5.才 ·5.力	今の季節を理解 場所の理解		できない	できない	できない	できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない	できない できない
	中間評価項目点数	76.0	66.6	62.2	40.8	25.0	33.4	11.1	48.6	60.3	19.
	第7群										
	問題行動に関連する項目)										
ፖ 1	被害的 作話										
ウ ェ	幻視幻聴 感情が不安定						ある	ある	ときどきある ある		ある
₹ .	昼夜逆転						ときどきある	ある	ある		ある
<u>カ</u> キ	暴言暴行 同じ話をする								ある		<u>ある</u> ある
ኃ	大声をだす							ときどきある	ときどきある	ある	
<u>ケ</u> コ	介護に抵抗 常時の徘徊							ときどきある		ときどきある	ある ある
サシ	落ち着きなし 外出して戻れない										ある
ス	一人で出たがる										ある
セソ	収集癖 火の不始末					-	-				ある
ያ	物や衣類を壊す									141047 =	ある
チッ	不潔行為 異食行動	<u> </u>								ときどきある ある	ある
. 7	ひどい物忘れ	100.0	100	100 -	100 -	100 -	ある	ある	24-	ある	ある
	中間評価項目点数		100.0	100.0	100.0	100.0	91.6	84.9	84.2	82.0	34.9

要支援2

		安又抜4									
	状態像の例	要支援2-1	要介護2-2	要支援2-3	要支援2-4	要支援2-5	要支援2-6	要支援2-7	要支援2-8	要支援2-9	要支援2-10
要介護	認定等基準時間	35.6	36.3	40.4	35.2	34.9	41.2	45.5	42.2	35.3	35.5
271 113	食事	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7
	排泄 移動	0.5 1.0	0.5 1.0	0.5 1.0	0.5 1.0	0.5 1.0	0.5 4.6	0.5 4.6	0.5 1.0	0.5 1.0	0.5
	清潔保持	8.6	8.6	5.7	8.6	8.6	5.7	4.2	14.0	8.6	5.7
	間接	7.3	7.3	15.0	7.3	7.3	15.0	13.2	13.7	7.3	13.6
	問題行動 機能訓練	0.4 10.6	0.4 11.3	0.1 11.3	0.4 10.6	0.1 10.6	0.1 8.5	0.4 9.3	4.3 1.5	4.3 6.4	0.4 7.1
	医療関連	6.5	6.5	6.1	6.1	6.1	6.1	12.6	6.5	6.5	6.5
佐 4 形	() () () () () () () () () ()										
弗] 群	(麻痺・拘縮に関連する項目) 麻痺(左ー上肢)			ある		1	ある				 ある
	麻痺(右一上肢)		ある				ある				
1-1	麻痺(左一下肢)	<u>ある</u> ある	ある	ある	<u>ある</u> ある	<u>ある</u> ある	<u>ある</u> ある			<u>ある</u> ある	ある
	麻痺(その他)	නව	ある		 ある	<i>ଷ</i> ୀବ	୬		ある	ଷଷ	
	拘縮(肩関節)			ある	ある	ある					
	拘縮(肘関節) 拘縮(股関節)	ある	ある		ある	ある					
1-2	拘縮(膝関節)	ある	<i>w</i> , <i>w</i>		ある	ある	ある		ある		
	拘縮(足関節)			ある			ある				
-	拘縮(その他) 中間評価項目点数	59.7	71.2	ある 52.2	43.9	43.9	54.0	100.0	89.5	86.5	87.5
	中间計画項目 点数	39.7	71.2	52.2	40.9	40.9	34.0	100.0	09.5	00.01	07.0
	群(移動等に関連する項目)				-	-				Į.	
2-1 2-2	寝返り 起き上がり	つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可 つかまれば可	つかまれば可	
2-3	座位保持	ンN: 61016円	支えが必要	-10 04 01 0 H	支えが必要		自分で支えれば可	- 10:41014円		自分で支えれば可	
2-4	両足での立位			支えが必要		支えが必要	支えが必要			3	
2-5 2-6	歩行 移乗			つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可 見守り等	見守り等			
2-6 2-7	移動						見守り等	元リツ守			
	中間評価項目点数	88.0	63.9	55.6	64.1	66.3	32.1	69.0	77.3	82.0	100.0
学っ型	(複雑な動作等に関連する項目)										
男 3 群	では、 立ち上がり	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可	つかまれば可
3-2	片足での立位	支えが必要	支えが必要	支えが必要	支えが必要	支えが必要	できない	支えが必要	支えが必要	支えが必要	支えが必要
3-3	洗身 中間評価項目点数	43.9	43.9	43.9	43.9	一部介助 44.0	一部介助 38.0	一部介助 44.0	43.9	43.9	一部介助 44.0
<u> </u>		40.9	43.8	43.9	43.9	44.0	აი.0	44 .0	43.8	4 0.8	44.0
	(特別な介護等に関連する項目)		-		-	-	-	-		Į.	
	じょくそう 皮膚疾患							ある		ある	
4-2	えん下							67.60	見守り等	67.60	
4-3	食事摂取										
4-4 4-5	飲水 排尿									一部介助	
4-5 4-6	排便									一部外的	
	中間評価項目点数	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	98.1	86.4	87.0	100.0
笠 5 群	(身の回りの世話等に関連する項目)										
								T		1	
0 1./	口腔清潔										
5−1.イ	洗顔										
5-1.イ 5-1.ウ	洗顔 整髮	一部介助	一部介助	全 介助	— 部介助	—部介助	全 介助	—部 介 助	全 介助	一部介助	全 介助
5−1.イ	洗顔	一部介助	一部介助	全介助	一部介助	一部介助	全介助	一部介助	全介助	一部介助	全介助
5-1.1 5-1.1 5-1.1 5-2.7 5-2.1	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱	一部介助	一部介助	全介助	一部介助		全介助	一部介助	全介助	一部介助	
5-1.1 5-1.1 5-1.1 5-2.7 5-2.1 5-3	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服	一部介助	一部介助	全介助	一部介助			一部介助	全介助	一部介助	全介助
5-1.1 5-1.1 5-1.1 5-2.7 5-2.1	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱	一部介助	一部介助	全介助	一部介助		全介助	一部介助	全介助	一部介助	
5-1.1 5-1.1 5-1.1 5-2.7 5-2.1 5-3 5-4	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定					一部介助	一部介助				一部介助
5-1.1 5-1.1 5-1.1 5-2.7 5-2.1 5-3 5-4 5-5	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用	一部介助	一部介助	全介助	一部介助			一部介助	全介助	一部介助	一部介助
5-1.4 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数					一部介助	一部介助				一部介助
5-1.4 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.4 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数					一部介助	一部介助				一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ク 6-5.エ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.エ 6-5.エ 6-5.エ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解					一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.エ 6-5.エ 6-5.エ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う				94.2	一部介助	一部介助		92.8		一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.カ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の長を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8	94.2	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.チ 6-5.オ 6-5.オ 6-5.カ	 洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思への反応 毎日の日をごう 短期記憶 自分の名前を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8	94.2	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.カ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の長を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8	94.2	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を三う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える	94.2	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.オ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の目課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視知聴 感情が不安定	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.イ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.オ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.オ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日日を言う 短期の名前を理解 生年月日を 自分の季節を理解 生年月間語(自分の季節を理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視の聴 感情が不安定 昼夜逆転	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える	94.2	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.オ 7.カ 7.キ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の長速を理解 生年月日を言う 短期の名前を理解 生年月記憶 自分の季が野解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視地 感情が不安定 昼夜漢素行 同じ話をする	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6群 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.オ 6-5.オ 7.ア 7.イ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日のを理解 生年月日を言う 短期の名前を理解 生年月記憶 自分の季節を理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻聴 の理解 中間記行動に関連する項目) 被害的 作話 幻聴 を言う を言う を言う を言う を言う を可の理解 中間記行動に関連する項目) を話の ので話し、 のでは、 を言う を言う を言う を言う を言が を言う を言う を言う を言う を言う を言う を言う を言う	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 視力 聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の長速を理解 生年月日を言う 短期の名前を理解 生年月記憶 自分の季が野解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視地 感情が不安定 昼夜漢素行 同じ話をする	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
第一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	 洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 穂カカ 意思の伝達 指示のの反応 毎日日を言う 短期の名がを理解 生年月日を言う 短期の名が季解 中間調行動に関連する項目) 被害 が高野解 中間題行動に関連する項目) 被信 が表示安定 昼夜み裏言話と出すが の様に の様に の様に の表示の の表示の のまた <l< td=""><td>94.2</td><td>94.2</td><td>92.8</td><td>94.2</td><td>一部介助</td><td>一部介助</td><td>94.2</td><td>92.8 やっと聞える 88.3 ある</td><td>100.0</td><td>一部介助</td></l<>	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 穂カカ 意思への反定を 毎日月を言う 短別の名節を理解 生年月記憶 自分の季のの理解 生年月記憶 自分の季のの理解 中間題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻聴 ののほぎ言う のの所の理解 中間間であい。 は間にでいるでは、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 のでは、	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
第一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 穂カカ 意思への反定を 毎日月を言う 短別の名節を理解 生年月記憶 自分の季のの理解 生年月記憶 自分の季のの呼解 中間題行動に関連する項目) 被話幻聴 で話出幻聴 を話ののでは を言言 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 を可がいます。 ではます。 ののはます。 ののはます。 を可がいます。 ではます。 ののではます。 ではます。 ののではます。 ではます。 ののではます。 ののではます。 ではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 ののではます。 のではなななななななななななななななななななななななななななななななななななな	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の管理 電話の利用 日常の意思決定 中間評価項目点数 (コミュニケーション等に関連する項目) 穂カカ 意思への反定を 毎日月を言う 短別の名節を理解 生年月記憶 自分の季のの理解 生年月記憶 自分の季のの理解 中間題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻聴 ののほぎ言う のの所の理解 中間間であい。 は間にでいるでは、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 はいれて、 では、 ののでは、 では、 はいれて、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 ののでは、 では、 のでは、	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
第1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の利用 日常の意思決定 中間部の意思決定 中間部の意思決定 中間調のの反応 毎月のの反応 毎月日に 1000	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
5-1.イ 5-1.ウ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第64 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.ナ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の利用 日常の意思決定 中間部の意思決定 中間部の意思決定 中間調のの反応 毎月日を 指示のの反談を理解 生年月記憶 自ののでで理解 生年月記憶 自のののでのでででは 生年月記を言う 自のののでのでのでででは 自動ののでででである。 はいればいがでででは をできる。 できる。	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
第1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	洗顔 整髪 つめのが 上ズボの内服 金銭 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	94.2	94.2	92.8	94.2	一部介助	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助
第一十八十十十二十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	洗顔 整髪 つめ切り 上衣の着脱 ズボン等の着脱 薬の内服 金銭の利用 日常の意思決定 中間 電常の一ション等に関連する項目) 視力 聴力の伝達 指示のの反応 毎日月を 短期分の季の明を 生年期記の名が要解 生年期記の名が事解 中間題行動に関連する項目) 被抗が不安 場でが転 暴言話と出抵抗 常的を表言う をで表表をはまっている。 ないででは、 を表言にある。 を表言にある。 を表言にある。 を表言にある。 を表言にある。 を表言にある。 を表言にある。 ない、のは、 を表言にある。 をののでは、 をでは、 ののでは、 をでは、 ののでは、 をでは、 ののでは、 ののでは、 ののでは、 をでは、 ののでは、 の	94.2	94.2	100.0	100.0	一部介助	一部介助	100.0	92.8 やっと聞える 88.3 ある	100.0	一部介助 86.1
第一十 5-1.イ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.ナ 7.ア 7.イ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ		100.0	100.0	100.0	100.0	一部介助 87.7	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 88.3	94.2 100.0	一部介助 86.1
第一十 5-1.イ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.ナ 7.ア 7.イ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	洗顔 整髪 つめのが 上ズボの内服 金銭 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	一部介助	94.2	92.8 やっと聞える 88.3 88.3 よきどきある	94.2 100.0	一部介助 86.1
第一十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十二十八十八十二十八		94.2 100.0 座っている 週1回以上	94.2 100.0 横になっている 週1回以上	92.8 92.8 100.0 100.0 よく動いている 週1回以上	94.2 100.0 100.0 よく動いている 週1回以上	一部介助 87.7 100.0 100.0 横になっている 月1回以上	一部介助 86.8 100.0 地っている 週1回以上	94.2 94.2 100.0 100.0 よく動いている 週1回以上	92.8 やっと聞える 88.3 88.3 よきどきある よきどきある 月1回以上	94.2 100.0 ある 96.6 座っている 週1回以上	一部介助 86.1 100.0 100.0 連っている 週1回以上
第一十八 5-1.イ 5-1.エ 5-2.ア 5-2.イ 5-3 5-4 5-5 5-6 第64 6-1 6-2 6-3 6-4 6-5.ア 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.ナ 6-5.ナ 7.ア 7.イ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ		94.2 100.0	100.0	100.0	100.0	一部介助 87.7 100.0	一部介助 86.8 100.0	94.2 100.0 ときどきある 97.6	92.8 やっと聞える 88.3 88.3 よきどきある	94.2 100.0 ある 96.6	一部介助 86.1 100.0

1979 1979			安介護									
日本語画		状態像の例	要介護1-1	要介護1-2	要介護1-3	要介護1-4	要介護1-5	要介護1-6	要介護1-7	要介護1-8	要介護1-9	要介護1-10
日本語画	要介護	越認定等基準時間	37.1	36.5	39.8	40.2	34.8	45.4	32.8	37.8	40.9	38.9
Page		食事	0.7	0.7	0.7				0.7	0.7	0.7	0.7
### 14												
The part of the												8.6
1		間接				14.7						14.
日本語 1987年 1987												9.
本語												
1	第1群						Ī					
### (** 下下で)												
□	1-1											
中の日本語の			ある	ある	ある		ある	ある				ある
Part												
「日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日		拘縮(肘関節)										
おおけらい おお	1-2			4 Z				セス	± Z		4 Z	
株式 (大き) 株式				<i>୭</i> ଚ				୬	ଅବ		୬	
1987 1987		拘縮(その他)										
2		中間評価項目点数	86.5	76.0	86.5	100.0	86.5	86.8	89.5	100.0	89.5	86.
2	第2	群(移動等に関連する項目)										
10 10 10 10 10 10 10 10	2-1	寝返り					_ , , ,					
2			<u> </u>	つかまれば可					つかまれば可			つかまれば可
20mm 10mm	2-3						メんが必安					
1	2-5	步行				つかまれば可	つかまれば可				つかまれば可	つかまれば可
100 801 903 90	2-6 2-7											
大学の名称	2-1		100.0	88.0	60.3	89.5	64.1		77.3	100.0	89.5	77.5
3 1 大き上が つかきれば同 つ	-											
***	第3群			つかまれげ可	つかまれげ司	つかまれげ司	つかまれげ	つかまれげ可	つかまれ げ 司 「	つかまれ げ 司	つかまれげ可し	つかまれげ可
**** ****	3-2	片足での立位					- M· み1い14円		支えが必要			
************************************	3-3	洗身			全介助				一部介助			
### 141	<u> </u>	中間評価項目点数	99.9	43.9	21.0	43.9	69.7	69.7	44.0	43.9	43.9	43.9
### ### ### ### ### ### ### ### ### ##	第4群											
24 24 24 25 25 25 25 25	4-1.7		+ 7		4.7						± 7	
#4-3 食品製品				見守り等	める			見守り等			める	
#5	4-3		20 4 7 4	JC 1 7 1				20 4 7 4				
### 140 ### 150	4-4				±0.4 51		見守り等	見守り等				
### #################################					一部介助							
5-17 日 海洋	1 0		84.5	86.4	87.0	100.0	90.3	76.7	100.0	100.0	98.1	100.0
5-17 日 海洋	45 F 37	(自の同日の単純なに関すまえを日)										
5-17 (*10						一部介助	一部介肋		一部介肋		
6-1.1	5−1.イ	洗顔					HI- 21 -23	HE ST -53				
□-27 大水の産幣 月中9等 月中9等 月中9等 月中9等 月中9等 日本の存職 日本の存職 日本の作職 日本の作職 日本の作職 日本の作職 日本の作職 日本の企業 日					A A 514		→ 0 ∧ 04	A A 84	A A 84	一部介助		
6-24 【水で等の意図 5-3 第の内限 5-4 食機の単厚 5-5 日本の意思決定 中間部価項目直敷 889 837 70.7 898 829 829 568 1708 468 777 77 77 809 821 822 824 811 824 824 811 863 762 223 655 919 881 663 74 77 77 (制能が発生を) 大きどきある ときどきある とどきある ときときある とどきある とどきある とどきある ときときある ときときある ときどきある とどきある 日はり 第1日 1日 1							一部介切	全介旫	全介切	見守り等		
6-4 食板の管理 5-5 世話の利用 5-6 日本の意思決定 中間がは信命 特別な場合 特別な場合 特別な場合 日常的に関数 特別な場合 大声が聞える かっと聞える かっと聞える かっと聞える できない できない できない できない できない できない できない できない	5-2. 1				LES ICAM							
5-5 報話の利用 6-6 日常の意思決定 中間評価項目直数 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 物別な場合 88.9 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 物別な場合 88.9 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 物別な場合 88.9 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 物別な場合 88.9 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 70.7 一部介助 物別な場合 88.9 全介助 70.7 一部介助 9.0 全介助 10m名の回見 88.9 一部介助 9.0 全介助 9.0 一部介助 9.0 全介助 10m名の回見 88.9 一部介助 9.0 全介助 10m名の回見 88.9 一部介助 9.0 全介的 10m名の回見 70m2 一部介助 9.0 本のの回見 70m2 一部介助 9.0 本のの回見 70m2 本のの回 70m2 本のの回 70m2 <td>5-3</td> <th></th> <td>一部介助</td> <td>一部介助</td> <td>如人品</td> <td>파스마</td> <td>一部介助</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>	5-3		一部介助	一部介助	如人品	파스마	一部介助					
特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 日常的に困難 特別な場合 日常的に困難 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 特別な場合 大声が開える 大声が開える ヤッと開える ヤッと用える ヤッと用る ヤッと用る ヤッと用る ヤッと用る ヤッと用る ヤッと用る ヤッと用える ヤッと用える ヤッと用る ヤッと用える ヤッと用る ヤッと見る ヤッと見る ヤッと見る ヤッと用る ヤッと	5-4 5-5			一部介助		一部介助						
### (2 5 2 5 2 7 - 7 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	5-6	日常の意思決定	特別な場合			性메か提合					—————————————————————————————————————	
6-1 横方		中間評価項目点数	99.0								特別な場合	
6-2 後方 6-3 全型の伝達 6-4 特示への反応 6-57 毎日日を言う 6-57 毎日日を言う 6-51 毎月の運輸性 6-52 毎月の運輸性 6-53 毎月の運輸性 6-54 毎月の運輸性 6-54 毎月の運輸性 6-54 毎月の運輸性 6-55 毎月の運輸性 6-54 毎月の運輸性 6-57 毎日の運輸性 6-58 毎月の運輸性 6-58 毎月の運輸性 6-59 毎月の運輸性 6-51 毎月の運輸性 6-52 毎月の運輸性 6-53 毎月の運輸性 6-54 毎月の運輸性 6-55 毎日の運輸性 6-56 毎日の運輸性 6-57 毎日の運輸性 6-57 毎日の運輸性 6-58 毎日の運輸性 6-59 毎日の運輸性 6-50 毎日の運輸性 6-51 毎日の運動性 6-52 毎日の運動性 6-54 毎日の運動性 6-54 毎日の運動性 6-55 毎日の運動性 6-56 毎日の運動性 6-57 毎日の国車 6-57 毎日の国車 6-58 毎日の国車 6-59 毎日の国車 6-50 毎日の国車 6-51 毎日の日車 6-51 毎日日車 6-51 毎日	第6群	(コミュニケーション等に関連する項目)	00.0	83.7			82.9				特別な場合	
8-3 息思の伝達 6-4 指示への反応 6-57 韓日の日課を理解 6-51 皇外の名前を言う 6-51 今の多前を理解 6-55 婦別の名前を言う 6-52 今の多前を理解 6-55 婦別の名前を言う 6-53 神のの名前を言う 6-54 中国評価項目点数 7 できない 7 下 概要的 7 下 概要が 7 下 概要が 7 下 概要が 8 下 下 の表示 8 下 下	6-1	視力	00.9	83.7			82.9				特別な場合	
6-6-1	6-2 6-3				70.7	89.6 1m先が見える					特別な場合 77.7	77.7
6-57 毎日の日親を理解 6-51 年5月日を含う 6-51 中の時間を理解 6-52 日本の主にいる。		聴力			70.7	89.6 1m先が見える					特別な場合 77.7	77.7
6-5.1 自分の名前を書写 できない できない できない できない できならない できない で	U T	聴力 意思の伝達 指示への反応			70.7	89.6 1m先が見える		56.8	70.5		特別な場合 77.7	77.
6-5.1 自分の名前を言う 6-5.2 中間評価項目点数	6-5.7	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解	やっと聞える		70.7	89.6 1m先が見える		56.8	70.5	46.8	特別な場合 77.7	77 やっと聞える ときどき通じる
6-5力 場所の理解 中間評価項目点数 できない 第77 詳(問題行動に関連する項目) 7.7 様を訪 7.9 幻視幻聴 8.2 番を送きある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある をとさある をとさある ときどきある ときどきある をとどきある をとどきある をとどきある をとどきある をとときある をとときある をとときある をとときある をとときをある をとときある をとときある をとときある をとときるる をとときある をとときをある をとときををとをとをををと をととをとをと をととをとをと をとととととをと をとととをとをと をとととをとをとととととと	6−5.7 6−5.イ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う	やっと聞える		70.7	89.6 1m先が見える	やっと聞える	56.8 ときどき通じる できない	70.5	46.8 できない	特別な場合 77.7	77.7 やっと聞える ときどき通じる
### ### ### ### #####################	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶	やっと聞える		70.7	89.6 1m先が見える	やっと聞える	56.8 ときどき通じる できない	70.5	46.8 できない	特別な場合 77.7	77.7 やっと聞える ときどき通じる
第7群 (問題行動に関連する項目) ある ときどきある まる まる まる まる	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解	やっと聞える	1m先が見える	70.7	89.6 1m先が見える	やっと聞える	56.8 ときどき通じる できない できない	70.5	46.8 できない	特別な場合 77.7	77.7 やっと聞える ときどき通じる
ある ときどきある ときとどきある ときどきある ときとときをある ときとときときるる ときととととととときをときるる ときととととととととととととととととととととととととととととととと	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解	やっと聞えるできない	1m先が見える できない	大声が聞える	1m先が見える やっと聞える	やっと聞える できない	ときどき通じる できない できない できない できない	70.5	46.8 できない できない	特別な場合 77.7 大声が聞える	わっと聞える ときどき通じる できない
7.7 作話 内側 大きどきある ときどきある ある ときどきある まる ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある まるときある ま	6-5.7 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数	やっと聞えるできない	1m先が見える できない	大声が聞える	1m先が見える やっと聞える	やっと聞える できない	ときどき通じる できない できない できない できない	70.5	46.8 できない できない	特別な場合 77.7 大声が聞える	77.7 やっと聞える ときどき通じる
7.0 幻視幻聴 ある ときどきある まる まる ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある まる ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある まる ときどきある ときどきある まる ときどきある まる まる ときどきある まる <t< td=""><td>6-5.7 6-5.1 6-5.ウ 6-5.ェ 6-5.オ 6-5.カ</td><th>聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数</th><td>やっと聞える できない 82.4</td><td>1m先が見える できない 81.1</td><td>大声が聞える</td><td>89.6 1m先が見える やっと聞える 76.2</td><td>やっと聞える できない</td><td>ときどき通じる できない できない できない できない</td><td>70.5</td><td>できない できない 88.1</td><td>特別な場合 77.7 大声が聞える</td><td>ヤっと聞える ときどき通じる できない</td></t<>	6-5.7 6-5.1 6-5.ウ 6-5.ェ 6-5.オ 6-5.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数	やっと聞える できない 82.4	1m先が見える できない 81.1	大声が聞える	89.6 1m先が見える やっと聞える 76.2	やっと聞える できない	ときどき通じる できない できない できない できない	70.5	できない できない 88.1	特別な場合 77.7 大声が聞える	ヤっと聞える ときどき通じる できない
7.オ 昼夜逆転 ある ときどきある まる ときどきある まる ときどきある まる まる ときどきある まる まる <t< td=""><td>6-5.7 6-5.1 6-5.寸 6-5.寸 6-5.寸 6-5.寸 7.7</td><th>聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的</th><td>やっと聞える できない 82.4</td><td>1m先が見える できない 81.1</td><td>大声が聞える</td><td>89.6 1m先が見える やっと聞える 76.2</td><td>やっと聞える できない</td><td>ときどき通じる できない できない できない できない 65.5</td><td>70.5</td><td>できない できない できない ときどきある</td><td>特別な場合 77.7 大声が聞える</td><td>ヤっと聞える ときどき通じる できない</td></t<>	6-5.7 6-5.1 6-5.寸 6-5.寸 6-5.寸 6-5.寸 7.7	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的	やっと聞える できない 82.4	1m先が見える できない 81.1	大声が聞える	89.6 1m先が見える やっと聞える 76.2	やっと聞える できない	ときどき通じる できない できない できない できない 65.5	70.5	できない できない できない ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える	ヤっと聞える ときどき通じる できない
7.カ 暴言暴行 同じ話をする ときどきある まる まる ときどきある ときどきある まる まる <td< td=""><td>6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.7</td><th>聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴</th><td>やっと聞える できない 82.4 ある ある</td><td>1m先が見える できない 81.1</td><td>大声が聞える</td><td>1m先が見える やっと聞える 76.2 ときどきある</td><td>やっと聞える できない 82.3</td><td>ときどき通じる できない できない できない できない 65.5</td><td>70.5 ときどき通じる 91.9</td><td>できない できない できない ときどきある ある</td><td>特別な場合 77.7 大声が聞える 86.3</td><td>ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3</td></td<>	6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.7	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴	やっと聞える できない 82.4 ある ある	1m先が見える できない 81.1	大声が聞える	1m先が見える やっと聞える 76.2 ときどきある	やっと聞える できない 82.3	ときどき通じる できない できない できない できない 65.5	70.5 ときどき通じる 91.9	できない できない できない ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える 86.3	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3
7.キ 同じ話をする 大声と出す 大きどきある 大きどきときある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきときある 大きどきときある 大きどきある 大きどきときある 大きどきときある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきある 大きどきをきある 大きどきときある 大きどきある 大きどきある 大きどきある	6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.1 6-5.1 6-5.h 第7期 7.7 7.4	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある	1m先が見える できない 81.1	大声が聞える	1m先が見える やっと聞える でっと聞える 76.2 ときどきある	やっと聞える できない 82.3	ときどき通じる できない できない できない できない 65.5	70.5 ときどき通じる 91.9	できない できない できない ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える 86.3	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3
7.ク 大声を出す 大声を出す 大声を出す ときどきある まる まる </td <td>6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.4 7.5 7.1</td> <th>聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転</th> <td>やっと聞える できない 82.4 ある ある ある</td> <td>1m先が見える できない 81.1 ときどきある</td> <td>大声が聞える</td> <td>1m先が見える やっと聞える でっと聞える 76.2 ときどきある</td> <td>やっと聞える できない 82.3</td> <td>ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある</td> <td>70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある</td> <td>できない できない できない ときどきある ある</td> <td>特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3</td> <td>ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある</td>	6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.4 7.5 7.1	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える	1m先が見える やっと聞える でっと聞える 76.2 ときどきある	やっと聞える できない 82.3	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある	できない できない できない ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある
7.コ 常時の徘徊 7.サ 落ち着きなし 7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる 7.セ 収集癖 7.ソ 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.ソ 異食行動 7.ア 異食行動 7.ア 異食行動 7.ア 甲間評価項目点数 61.5 84.9 95.6 85.2 89.1 88.2 84.1 82.4 80.3 85. 第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 10-2 外出頻度 よく動いている 座っている 座っている 横になっている 横になっている 座っている よく動いている よく動いている 座っている 週1回以上	6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.4 7.5 7.7 7.7 7.4 7.5	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転 暴言暴行 同じ話をする	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える でっと聞える 76.2 ときどきある ときどきある ある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.サ 落ち着きなし 7.シ 外出して戻れない 7.ス 一人で出たがる 7.セ 収集癖 7.リ 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ 中間評価項目点数 ある ある ときどきある ときどきある ある あ	第7期 7.7 7.4 7.7 7.7 7.4 7.7 7.4 7.7	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の多節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜逆転 暴言暴行 同じ話をする 大声を出す	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.2 一人で出たがる 7.2 収集癖 7.7 火の不始末 7.9 物や衣類を壊す 7.7 不潔行為 7.9 異食行動 7.7 ひどい物忘れ 中間評価項目点数 ある 第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 10-2 外出頻度 ある ときどきある ときどきある ある ときどきある ある ときどきある ある 84.9 95.6 85.2 89.1 88.2 84.1 82.4 80.3 85.	6-5.7 6-5.4 6-5.5 6-5.7 6-5.7 6-5.7 6-5.7 7.7 7.4 7.5 7.7 7.7 7.4 7.5	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の名前を言う 今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜選暴行 同じ話をする 大声を出す 介護に抵抗	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.セ 収集癖 7.ソ 火の不始末 7.タ 物や衣類を壊す 7.チ 不潔行為 7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ 中間評価項目点数 第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 10-2 外出頻度 ある 座っている 座っている 横になっている 座っている 座っている 週1回以上 週1回以上 月1回未満 月1回未満 週1回以上 月1回未満	第7期 7.7 7.4 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の多節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視幻聴 感情が不安定 昼夜選暴行 同じ話をする 大声を出す 介護に抵抗 常時の徘徊 落ち着きなし	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.ツ 火の不始末 ときどきある ときどきある 7.タ 物や衣類を壊す スプラ 大の不治力 大の不分力 大のある 大のよのよのよのでは、大のよのでは、大のかったいる 大のよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよのよ	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.ケ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視切聴 感情が不安定 昼夜異行 同じ話をする 大声を出す 介護に抵抗 常時の徘徊 落ち着きなし 外出して戻れない	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.チ 不潔行為 7.ツ 異食行動 ある ある ときどきある ときどきある ある 本のる おる おる かる おる かる おる おる おる かる おる おる <th< td=""><td>第7期 7.7 7.4 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5</td><th>聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話幻聴 感情が転 暴言暴行 同じ話をする 大声を出す 介護に抵抗 常時の なおして 大きして 外出して出たがる</th><td>やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある</td><td>1m先が見える できない 81.1 ときどきある</td><td>大声が聞える 大声が聞える 86.3</td><td>1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある</td><td>やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある</td><td>ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある</td><td>70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある</td><td>できない できない できない ときどきある ある ときどきある</td><td>特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある</td><td>ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある</td></th<>	第7期 7.7 7.4 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5 7.5	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 様(問題行動に関連する項目) 被害的 作話幻聴 感情が転 暴言暴行 同じ話をする 大声を出す 介護に抵抗 常時の なおして 大きして 外出して出たがる	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある
7.ツ 異食行動 7.テ ひどい物忘れ ある ある ときどきある ある ある ある ある 中間評価項目点数 第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 10-2 外出頻度 場別の以上 週1回以上 月1回未満 月1回未満 月1回未満 週1回以上 月1回未満 週1回以上 週1回以上 週1回以上	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自今の季節を理解 場所の理解 中間評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話幻師 感情が転 昼夜暴行 同じ話と出す 介護に抵抗 常時の大声をは抵抗 常時のまとして出たがる 収集解 火の不始末	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある
7.テ ひどい物忘れ 中間評価項目点数 ある ある ときどきある ある ある ある ある 第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 10-2 外出頻度 よく動いている 座っている 座っている 横になっている 座っている 座っている よく動いている 座っている 週1回以上 週1回以上 月1回未満 月1回未満 月1回未満 週1回以上 月1回未満 週1回以上 週1回以上 週1回以上	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記の名前を言う 今の季節を理解 場所の即評価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害話の が書いい 作が記聴感情で必要を 暴言に抵抗が一次でを 暴言に抵抗 常時のない 一人と がよいし がよいして出たがる 収集の 大力として出たがる 収集の 大力を表表してい 一人との 収集の 大力を表表して、 のとの のとの での のでである。 は、 のとの のでの のでである。 は、 のとの のである。 は、 のとの のでの のである。 は、 のとの のでも のでの のである。 は、 のとの のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも のでも ので	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある
第10群 (廃用の程度に関する調査項目) 10-1 日中の生活 よく動いている 座っている 座っている 横になっている 横になっている 座っている 座っている よく動いている 上のでいる 座っている か出頻度 週1回以上 週1回以上 月1回未満 月1回以上 月1回未満 月1回以上 月1回未満 週1回以上 週1回収上 週1回収日 回収日 回収日 回収日 回収日 回収日 回収日 回収日 回収日 回収日	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を言う 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間野価項目点数 (問題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視が不安定 昼夜暴行 同じ話をする 大方護にがも 気情が等なし が時ので表して出たがる 収集癖 火の不気類を壊す 不潔行為	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある	やっと聞える できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない できない をきない ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある
10-1 日中の生活 よく動いている 座っている 横になっている 横になっている 座っている 座っている よく動いている 上く動いている 座っている 10-2 外出頻度 週1回以上 週1回以上 月1回未満 月1回未満 月1回未満 週1回以上 月1回未満 週1回以上	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を 短期記の名前を言う 今の季理解 中間題の不動を理解 中間題行動に関連する項目) 被害話の がお話の がお話の がい不安定 を要言話をする 大方護にの後の では、 が高いでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある よきどきある ある	大声が聞える 大声が聞える 86.3	89.6 1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	できない できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない 65.5 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある	できない できない ときどきある ある ときどきある	特別な場合 77.7 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある ある ある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある
10-1 日中の生活 よく動いている 座っている 横になっている 横になっている 座っている 座っている よく動いている 上く動いている 座っている 10-2 外出頻度 週1回以上 週1回以上 月1回未満 月1回未満 月1回未満 週1回以上 月1回未満 週1回以上	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を 短期記の名前を言う 今の季理解 中間題の不動を理解 中間題行動に関連する項目) 被害話の がお話の がお話の がい不安定 を要言話をする 大方護にの後の では、 が高いでは、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある ある	大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある ときどきある	できない できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない 65.5 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある ときどきある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 86.3 ときどきある ときどきある ある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある
	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指田の伝達 指田の反応 毎日日を理解 生年月日を 短期のの季理解 生年月間 自分の季理解 中間題のの季理解 中間題の 中間題の 「では、 一のでででは、 一のででででである。 中のでででである。 一のでででである。 一のででででである。 一のででである。 一のででは、 一のででである。 一のででは、 一のできまでは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のできまでは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のでは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のででは、 一のでは 一。 一。 一のでは 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。 一。	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある ある	大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ある ときどきある ときどきある	できない できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	ときどき通じる できない できない できない 65.5 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 ときどきある ときどきある ある ときどきある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 86.3 ときどきある ときどきある ある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある
10 o 涿烣-'泊口塚児-'社工参加の変元 ぱい	6-5.ア 6-5.イ 6-5.ウ 6-5.エ 6-5.オ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指田の伝達 指田の日課を理解 生年月日を 短期記憶 自分の季理解 生年月間を 自分の季理解 場所の間評価項目点数 様(問題) では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある とさどきある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある ある ある 84.9 座っている	大声が聞える 大声が聞える 86.3 ときどきある ときどきある	89.6 1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどさある	ときどき通じる できない できない できない できない をきときもある ときどきある ときどきある	70.5 ときどき通じる 91.9 91.9 ときどきある ある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある ある	特別な場合 77.7 大声が聞える ときどきある ときどきある ときどきある ある ある ある ある 80.3	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある
	6-5.ア 6-5.イ 6-5.カ 6-5.カ 6-5.カ 7.ア 7.イ 7.ウ 7.エ 7.カ 7.キ 7.ク 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ 7.カ	聴力 意思の伝達 指示への反応 毎日の日課を理解 生年月日を 短期記憶 自分の季節を理解 場所の理解 中間題行動に関連する項目) 被害的 作話 幻視が不安定 昼高に抵抗 常時をする 大方護にがる 大意に抵抗 常時がまなし 外出して出たがる 収集の本変類を 水の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある 大の表がある とい物でなり とい物である は、ののと は、の、のと は、の、のと は、の、のと は、の、の。 は、の、の。 は、の、の。 は、の。 は、の。 は、の。 は、の	やっと聞える できない 82.4 ある ある ある ある ときどきある ときどきある ときどきある ともどきがる ときどがある ある	1m先が見える できない 81.1 ときどきある ときどきある ある ある 84.9 座っている 週1回以上	大声が聞える 大声が聞える 86.3 86.3 ときどきある ときどきある り5.6 座っている 月1回未満	89.6 1m先が見える やっと聞える やっと聞える 76.2 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある	できない 82.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある とうとさどきある とうとがある ときがられる 月1回未満	ときどき通じる できない できない できない できない 65.5 ときどきある ときどきある ときどきある とさどきある とさどさある	70.5 ときどき通じる 91.9 91.9 ときどきある ある ときどきある ある ときどきある ある	できない できない できない ときどきある ある ときどきある ある よく動いている 週1回以上	特別な場合 77.7 大声が聞える 大声が聞える 86.3 86.3 ときどきある ときどきある ときどきある ある ある ある	ヤっと聞える ときどき通じる できない 74.3 ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある ときどきある

要介護度別・中間評価項目群別の調査所見

						要介護状態区分	}		
中	間評価項目	各群の一般的傾向	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
第1群	麻痺・拘縮 に関連する項目 【麻痺・拘縮】	下肢の麻痺は比較的軽度の要介護度から該当するが、拘縮や上肢の麻痺は重度の要介護度で該当することが多い				なし又は一部 の項目が該当		多くの項目が 該当 (問題行動が ない場合)	多くの項目が 該当
第2群	移動等 に関連する項目 【移動】	「歩行」など下肢の機能 に関する項目は要介護 状態で該当することが多 い		該当 (「つかまえれ	該当 (「つかまえれ	多くの項目が 該当 (「つかまえれ ば可」「支えが 必要」程度)	該当 (一部の項目	ほとんどの項目が該当 (一部の項目が「できない」 「全介助」)	ほとんどの項 目が該当 (一部の項目 が「できない」 「全介助」)
第3群	複雑な動作 に関連する項目 【複雑動作】	「立ち上がり」、「片足で の立位保持」は要支援状態から該当することが多 く」、「洗身」は要介護状態で該当することが多い	一部の項目が 該当 (「支えが必 要」程度)	ほとんどの項 目が該当 (「一部介助」 程度)	ほとんどの項 目が該当 (「一部介助」 程度)	目が該当			ほとんどの項目が該当 (大部分の項目が「できない」「全介助」)
第4群	特別な介護等 に関連する項目 【特別な介護】	要介護状態が重度になるにつれ、「排尿」から 「排便」、「食事摂取」の 項目の順に該当していく ことが多い	ほとんど該当 なし	ほとんど該当 なし (一部の項目 が「一部介助」 程度)	なし (一部の項目	少数の項目が 該当 (一部の項目 が「一部介助」 程度)	該当 (一部の項目	やや多くの項 目が該当 (一部の項目 が「全介助」)	多くの項目が 該当 (やや多くの 項目が「全介 助」)
第5群	身の回りの世話 に関連する項目 【身の回り】	他の群と比較して要支援 状態でも該当することが 多い		度だが、少数	該当 (「見守り等」 「一部介助」程	多くの項目が (多くの項目が「見守り等」 「一部介助」程度だが、一部 の項目が「全 介助」)		ほとんどの項 目が該当 (ほとんどの 項目が「全介 助」)	ほとんどの項目が該当 (ほとんどの項目が「全介助」)
第6群	コミュニケーション 等 に関連する項目 【意思疎通】	より重度の要介護度で該当することが多い	少数の項目が 該当	少数の項目が 該当	該当	該当 (問題となる行	やや多くの項 目が該当 (問題となる行 動がある場 合)	該当	ほとんどの項 目が該当 (問題となる行 動がある場 合)
第7群	問題行動 に関する項目 【問題行動】	問題となる行動がある場合は、要介護度に応じ該 当項目数が増加すること が多い		少数の項目が 該当	一部の項目が 該当	一部の項目が 該当	一部の項目が 該当	一部の項目が 該当	やや多くの項 目が該当

要介護度別にみた中間評価項目の平均得点

- 〇 本表は、第1群〜第7群までの中間評価項目の平均得点を要介護度別に表したもので、平成15年度以降の要介護認定の結果をもとに試算したものである。(参考として、平成17年度要介護認定モデル事業の結果をもとに試算した「要支援2」及び「要介護1」に係る平均得点を右欄に掲載している。)
- O また、集団としての一般的な傾向を統計量として示したものであり、特定の個人について 平均得点と大きくかけ離れた得点をとることもあり得る。

		自立	要支援	要介護 1 相当	要介護 2	要介護3	要介護 4	要介護 5
第1群	麻痺・拘縮に関連する項目	98. 1	88. 3	76. 5	74. 5	74. 4	64. 1	44. 6
第2群	移動等に関連する項目	94. 4	80.0	66. 6	52. 8	38. 8	17. 1	4. 6
第3群	複雑な動作等に関連する項目	83. 4	50. 2	45. 7	39. 2	28. 5	13. 2	5. 7
第4群	特別な介護に関連する項目	99. 3	98. 3	92. 6	75. 2	62. 5	48. 1	21.6
第5群	身の回りの世話等に関連する項目	98. 3	94. 2	83. 0	60. 6	43. 1	24. 4	5. 4
第6群	コミュニケーション等に関連する項目	95. 5	92. 1	88. 2	81.0	72. 7	64. 6	38. 0
第7群	行動に関連する項目	99. 4	98. 2	96. 0	92. 6	88. 3	89. 3	94. 1

要支援 2	要介護 1
75. 7	80.0
68. 0	69. 2
46. 4	48. 1
95. 4	92. 2
89. 7	77. 6
91. 7	84. 4
98. 2	94. 4

新予防給付の適切な利用が見込まれない状態像について

介護認定審査会における状態の維持・改善可能性の審査判定において、新予防給付の適切な利用が見込まれない状態像は、以下のとおりとする。

- ① 疾病や外傷等により、心身の状態が安定していない状態
- O 脳卒中や心疾患、外傷等の急性期や慢性疾患の急性増悪期で、心身の状態が不安定であり、医療系サービス等の利用を優先すべきもの
- O 末期の悪性腫瘍や進行性疾患(神経難病等)により、急速に状態の不可逆的な悪化が見込まれるもの 等
 - ・「心身の状態が安定していない状態」とは、罹患している傷病の日内変動の有無や予後予測の困難さに基づき判断するものではなく、疾病や外傷により短期間で心身の状態が変化することが予測され、それに伴い、要介護度の変化も短期間で生ずるおそれが高く、例えば、要介護認定の有効期間を原則より短く(概ね6か月程度)して、要介護状態等の再評価が必要な状態が該当する。
 - ・ したがって、主治医意見書等に疾病や外傷の症状が不安定との記載がある ことのみをもって当該状態に該当するものではなく、また、短期間での要 介護度の再評価が必要でない場合等も該当しない。
 - ・ さらに、これらの状態の判断は、個別サービスの利用の適格性に着目して 行うのではなく、心身の状態が短期間に変動し易いため特定の要介護状態 等区分への判定が相当困難で、比較的短期間での再評価が必要な状態が該 当する。

- ② 認知機能や思考・感情等の障害により、十分な説明を行ってもなお、新予防給付の利用に係る適切な理解が困難である状態
 - 「認知症高齢者の日常生活自立度」が概ね II 以上の者であって、一定以上の介護が必要な程度の認知症があるもの。
 - その他の精神神経疾患の症状の程度や病態により、新予防給付の利用に 係る適切な理解が困難であると認められるもの
 - ・ アルツハイマー病や血管性認知症といった病名のみから判断するものではなく、特記事項、主治医意見書の記載内容から「認知症高齢者の日常生活自立度」が概ねⅡ以上である状態が該当する。
 - ・ 特定の基本調査項目の結果のみに着目し、その結果をもって当該状態に該 当するものではない。
 - ・ 認知症症状が一時的に現れている場合であっても、特記事項、主治医意見 書の記載内容などから、適切な医学的管理により認知機能が改善すると判 断される場合には、その状態に基づいて判定する。